

科目名	JAZZ FUNK 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺裕子 久次亜希子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAZZ FUNKダンス 17年・12年・18年・9年・26年						
授業の学習 内容	ベーシックなJazzFunkダンスの内容。JAZZFunkで主に使われる技を練習、習得。 曲でのコンビネーションによるダンス実施。						
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。 早くて正確な振り覚えができるようになる。曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	フロアでセクシーに表現。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	フォーメーションで踊る①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	フォーメーションで踊る②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	フリーでのダンス強化	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	魅せ方、表現の練習	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ FUNK 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺裕子 久次亜希子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAZZ FUNKダンス 17年・12年・18年・9年・26年						
授業の学習 内容	ベーシックなJazzFunkダンスの内容。JAZZFunkで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。						
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーション(胸)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	アイソレーション(肩)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	アイソレーション(首)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	フロアでセクシーに表現①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	フロアでセクシーに表現②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	フォーメーションで踊る①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	フォーメーションで踊る②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	フリーでのダンス強化①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	フリーでのダンス強化②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ A-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺祐子 久次亜希子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年						
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。						
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるように スキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。 コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ピルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロッパ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。 バットマンからピケシエネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。 半シエネ→ピルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ A-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺祐子 久次亜希子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年						
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。						
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ピルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロッパ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。バットマンからピケシエネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シエネ→ピルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	前週の復習。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ B-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺祐子 久次亜希子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年						
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用						
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	プリエなどバレエの基礎	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	振り付けを覚える。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	振り付けを正確に踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	表情もつけて踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	何回踊っても間違えない。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	スローな動きで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	手足がしっかり伸びるようにする。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	感情をこめて踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	少人数に分けて大きく踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	アップテンポのダンス	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	グルーブとアイソレーションを大切に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】 シューズ				

科目名	JAZZ B-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 久次亜希子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用					
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	セクシーに歩く練習	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	新しいコンビネーションのクロスフロ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	腰をしっかり動かせるように	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	可愛い歩き方	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	笑顔で歩く	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	アイドルらしい振り付け	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	表情を大切に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	フリーでのダンス強化	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	フロアでセクシーに。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】 シューズ				

科目名	JAZZ C-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 久次亜希子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャズダンス基礎の確認、徹底 ・ダンスを通して表現の実践 					
到達目標	<p>①正しい姿勢を理解し、実践できる。</p> <p>②基礎の大切さを理解している。</p> <p>③振りを覚え、曲の意味に沿って表現しながら踊ることが出来る。</p>					
評価方法と 基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの説明、 ピルコット・コンビネーション	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	ウォームアップの解説 ①姿勢・コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ウォームアップの解説 ②パラレルの重要性・コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	ウォームアップの解説 ③ルルベ・コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	プリエの説明、実践	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	タンデュ・デガジェの説明	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	体重移動 タンデュ→タンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	片足になる パッセ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	体重移動 タンデュ→パッセ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	ロンデジャンプ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	ロンデジャンプ→ピケ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	ピルエットダブルを安定させる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ C-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺祐子 久次亜希子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年						
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする 						
到達目標	<p>①テクニックの向上</p> <p>②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。</p>						
評価方法と 基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振り うつしが出来る	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	フロアでセクシーに。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
時々ゴムやボールを使用				

科目名	バレエ A-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	秋山かおる
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	日本バレエ協会会員 プロGRESSIVEバレエテクニク認定講師						
授業の学習 内容	<p>◎クラシックバレエの基礎を学ぶ事を通し、ダンサーとしての筋力、姿勢、柔軟性、音楽性を養う</p> <p>◎バレエのクラスレッスンの特性として「右からやった事は左から、前からやった事は後ろからも同じ動きを必ず繰り返す」内容となっており、レッスンを重ねる事で「自分の身体・筋肉を自由にコントロールして踊る」ことを身に着ける。</p> <p>◎他ジャンルのダンス振付の際にも「バレエ用語＝動きの名称」が使われる事も多い為、レッスンを通して用語も学ぶ</p> <p>◎具体的なレッスン内容は バーレッスン（約50分）＋センターブラクティス（約40分）</p> <p>※ストレッチは慣れるまでは授業時間内で実施→ストレッチの種類ややり方を理解できたら授業前に自分でストレッチをし、バーレッスンから授業開始となります</p>						
到達目標	<p>①バーレッスン（プリエからグランバットマンまで）は前期に学んだ基礎を元に応用的なパにも挑戦する</p> <p>②センターブラクティスについては前期に学んだ基礎を活かし、グランワルツまで幅広く踊れるようになる</p> <p>③自分自身の骨格・筋肉の質や左右差を理解し「ケガをしないダンサー」の身体づくりの為のレッスンが出来るようになる</p>						
評価方法と基準	<p>実技試験60%（実技） 出席率40%</p> <p>※技術の向上だけでなく、毎回の授業に臨む姿勢も含めて評価します。</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ストレッチの仕方、ポジションとバーレッスン	ストレッチとポジションの復習
2		演習	バーレッスン（ターンアウトの必要性を学ぶ）	ストレッチ＋大腿骨の動かし方を研究
3		演習	バー＋センターのアダージオとタンジュ	ストレッチ＋左右の軸足の感覚を研究
4		演習	前回の内容にピルエットの基礎を追加	ストレッチ＋ルルベの復習
5		演習	前回の内容にスモールジャンプを追加	ストレッチ＋アームス（腕）の使い方を研究
6		演習	前回の内容にピケターンを追加	ストレッチ＋ターンにおける首のつけ方を復習
7		演習	前回の内容にアレグロを追加	〃
8		演習	バー＋センターは前回の内容に应用を加える	ストレッチ＋顔のつけ方（方向）の復習
9		演習	バー＋センターは前回の内容に应用を加える	ストレッチ＋自分の弱点は何かを考え復習
10		演習	バー＋センターは前回の内容に应用を加える	ストレッチ＋自分の弱点は何かを考え復習
11		演習	バーレッスン＋試験課題としてのセンター	ストレッチ＋試験課題の復習
12		演習	バーレッスン＋試験課題としてのセンター	ストレッチ＋試験課題の復習
13		演習	バーレッスン＋ 実技試験	ストレッチ＋前期で覚えた用語を確認・復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			スタジオに入ったら授業が始まるまでに自分たちでバーを設置し、各自でストレッチを始めること	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン時の服装・髪型については教務の先生より詳しい指示がありますので、それに従って下さい				

科目名	バレエA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	秋山かおる
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	日本バレエ協会会員 プロGRESSIVEバレエテクニク認定講師						
授業の学習 内容	◎クラシックバレエの基礎を学ぶ事を通し、ダンサーとしての筋力、姿勢、柔軟性、音楽性を養う ◎バレエのクラスレッスンの特性として「右からやった事は左から、前からやった事は後ろからも同じ動きを必ず繰り返す」 内容となっており、レッスンを重ねる事で「自分の身体・筋肉を自由にコントロールして踊る」ことを身に着ける ◎他ジャンルのダンス振付の際にも「バレエ用語＝動きの名称」が使われる事も多い為、レッスンを通して用語も学ぶ ◎具体的なレッスン内容は バーレッスン（約50分）＋センターブラクティス（約40分） ※前期より、音楽の使い方やステップの幅に応用性をもたせてゆく						
到達目標	①バーレッスン（プリエからグランバットマンまで）は前期に学んだ基礎を元に応用的なバにも挑戦する ②センターブラクティスについては前期に学んだ基礎を活かし、グランワルツまで幅広く踊れるようになる ③自分自身の骨格・筋肉の質や左右差を理解し「ケガをしないダンサー」の身体づくりの為のレッスンが出来るようになる						
評価方法と基準	実技試験60%（実技） 出席率40% ※技術の向上だけでなく、毎回の授業に臨む姿勢も含めて評価します。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	前期の内容＋グランワルツについて	ストレッチ＋ステップの復習
2		演習	前回の内容＋グランワルツ（ダイナミックに）	ストレッチ＋ステップの復習
3		演習	バー＋センター（ターンに重点）	ストレッチ＋軸足ルルの復習
4		演習	バー＋センター（アダージオに重点）	ストレッチ＋プロムナードの仕組みを復習
5		演習	バー＋センター（アレグロに重点）	ストレッチ＋アームス（腕）の使い方を研究
6		演習	バー＋センター（ジャンプに重点）	ストレッチ＋アントルラセの仕組みを復習
7		演習	バー＋センター（ジャンプに重点）	ストレッチ＋アントルラセの仕組みを復習
8		演習	バー＋センターは今までの内容に応用を加える	ストレッチ＋顔のつけ方（方向）の復習
9		演習	バー＋センターは今までの内容に応用を加える	ストレッチ＋アームス（腕）の復習
10		演習	バーレッスン＋試験課題としてのセンター	ストレッチ＋試験課題の復習（表現の研究）
11		演習	バーレッスン＋試験課題としてのセンター	ストレッチ＋試験課題の復習（音楽性を踏まえ）
12		演習	バーレッスン＋ 実技試験	ストレッチ＋自分の弱点は何かを考えての復習
13		演習	バーレッスン＋センター	一年間のまとめとしてのクラスレッスン
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			スタジオに入ったら授業が始まるまでに自分たちでバーを設置し、各自でストレッチを始めること	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン時の服装・髪型については教務の先生より詳しい指示がありますので、それに従って下さい				

科目名	バレエB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	下島功佐
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ロシアワガノワバレエアカデミー留学卒業、元谷桃子バレエ団ソリスト						
授業の学習 内容	① バレエは、ダンス全般及び演技に共通して適用する部分が非常に多いので、将来、ダンス関係及び舞台関係への就職を少しでも考えているならば必須です。 ② ダンス全般の授業と関係します。しなやかで強い筋肉、軸のぶれない体幹、美しい身体のライン、音の聞き方感じ方、以上の体得という位置付けです。 ③ バレエは専門的且つ基礎的で地味な練習が多いが毎時間繰り返し返す事で精神力も鍛え、自分の身体、自分の可能性としっかりと向き合い、卒業後の進路の可能性を広げていってほしい。 ①～③をふまえて柔軟性を高めるためのストレッチ、体幹強化とバレエの基礎知識習得の為にパーレッション、バレエのステップへの理解を深める為、ジャンプ、回転も多用したセンターレッション(パーレッション、センターレッション、共に音楽に合わせて行う)						
到達目標	当たり前ではあるが、休まず毎時間出席する事が第1目標。最終的にはバレエのポジション、ステップコンビネーションの説明の理解が出来、尚且つ実践できるようになる。						
評価方法と基準	定期テストの点数と普段の授業への取り組み方を総合的に評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	腹筋、背筋、腹斜間の筋力強化の為にトレーニング/パーレッション、手のポジション(アンバー、アンナヴァン、アンオー、アラセゴン)足のポジション(1～6番)の説明を重点的に	知っているストレッチをしておく。
2		講義・発表	プリエ:身体をまっすぐにたてる意識を持つ事を重点的に。	1で学んだストレッチ、筋力トレーニング。手のポジション、足のポジションの復習。
3		講義・発表	タンジュとジュテ:自分の前横後ろへ身体がぶれずに真っ直ぐに足を出せる事を重点的に。	2で学んだストレッチ、筋力トレーニング。プリエの復習。
4		講義・発表	タンジュとジュテ:足の指、ドゥミをきちんと使えるように意識することを重点的に。	3で学んだストレッチ、筋力トレーニング。タンジュ、ジュテの復習。
5		講義・発表	ロンデジャンプ:前横後ろのタンジュを連続して繋げて動かす事を覚える、動かすときに身体、腰がブレない事を意識して。パッセの説明。	4で学んだストレッチ、筋力トレーニング。タンジュ、ジュテの復習。
6		講義・発表	フォンデュ:片足のプリエ、及びクベの形を理解、習得	5で学んだストレッチ、筋力トレーニング。ロンデジャンプ、パッセの復習。
7		講義・発表	フラッペ:体幹がブレずに音、リズムに合わせてはつきりと素早く足を動かせる。	6で学んだストレッチ、筋力トレーニング。フォンデュ、クベの復習
8		講義・発表	アダジオとグランバットマン:タンジュを越えて足を高く上げ、キープ出来るように。素早く高く上げられるように。	7で学んだストレッチ、筋力トレーニング。フラッペの復習。
9		講義・発表	アダジオとグランバットマン:デベロップの習得。	8で学んだストレッチ、筋力トレーニング。アダジオ、グランバットマンの復習。
10		講義・発表	ルルベの確認。	9で学んだストレッチ、筋力トレーニング。デベロップの復習。
11		講義・発表	スシュとエシャッペの説明。	10で学んだストレッチ、筋力トレーニング。ルルベの復習。
12		講義・発表	シャンジュマンの説明。	11で学んだストレッチ、筋力トレーニング。スシュとエシャッペの復習。
13		試験	12までのパーレッション及びセンターレッションの内容に対する理解力の確認。	12で学んだストレッチ、筋力トレーニング。シャンジュマンの復習。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	下島功佐
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ロシアワガノワバレエアカデミー留学卒業、元谷桃子バレエ団ソリスト						
授業の学習 内容	<p>① バレエは、ダンス全般及び演技に共通して通用する部分が非常に多いので、将来、ダンス関係及び舞台関係への就職を少しでも考えているならば必須です。</p> <p>② ダンス全般の授業と関係します。しなやかで強い筋肉、軸のぶれない体幹、美しい身体のライン、音の聞き方感じ方、以上の体得という位置付けです。</p> <p>③ バレエは専門的且つ基礎的で地味な練習が多いが毎時間繰り返す事で精神力も鍛え、自分の身体、自分の可能性としっかりと向き合い、卒業後の進路の可能性を広げてほしい。</p> <p>①～③をふまえて柔軟性を高めるためのストレッチ、体幹強化とバレエの基礎知識習得のためのパーレッション、バレエのステップへの理解を深める為、ジャンプ、回転も多用したセンターレッション（パーレッション、センターレッション、共に音楽に合わせて行う）</p>						
到達目標	<p>当たり前ではあるが、休まず毎時間出席する事が第1目標。最終的にはバレエのポジション、ステップコンビネーションの説明の理解が出来、尚且つ実践できるようになる。</p>						
評価方法と基準	<p>定期テストの点数と普段の授業への取り組み方を総合的に評価</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	センターレッションでの角度、身体の向きの説明、エファセ、クロワゼ、エカルテ等。	前期に学んだストレッチ、筋力トレーニング。
2		講義・発表	バーを使わずに体幹を保ってタンジュ、グランバットマンと片足でパッセのバランス。	1で学んだストレッチ、筋力トレーニング。センターレッションでの身体の向き、角度の復習。
3		講義・発表	回転をする時の首から上、顔の使い方、アンデタンとアンデオールのビルエットの説明と実践。	2で学んだストレッチ、筋力トレーニング。センターでのタンジュ、グランバットマン、パッセのやり方の復習。
4		講義・発表	バーを使わずにアダジオ、デベロップの実践。	3で学んだストレッチ、筋力トレーニング。ビルエットのアンデオールとアンデタンの違いの復習。
5		講義・発表	センターでのスシュとエシャッペ、スモールジャンプ(ジャンジュマンやスーフルソーなど)前後左右に動かないその場でやるもの、の説明と実践。	4で学んだストレッチ、筋力トレーニング。センターレッションでのアダジオの復習。
6		講義・発表	グリッサードとアッサンブレの説明と実践。	5で学んだストレッチ、筋力トレーニング。スシュ、エシャッペとスモールジャンプの復習。
7		講義・発表	5.6.7の内容を応用したコンビネーション	6で学んだストレッチ、筋力トレーニング。グリッサードとアッサンブレの復習。
8		講義・発表	大きなジャンプ、グランワルツ、基本的なコンビネーションで。	7で学んだストレッチ、筋力トレーニング。アレグロジャンプの復習。
9		講義・発表	グランワルツを少し複雑なコンビネーションで。	8で学んだストレッチ、筋力トレーニング。グランワルツの復習。
10		講義・発表	シェネ、ピケアンデタン等、早い回転の連続技の説明と実践。	9で学んだストレッチ、筋力トレーニング。グランワルツの復習。
11		講義・発表	シェネとピケアンデタンのコンビネーション。	10で学んだストレッチ、筋力トレーニング。シェネとピケアンデタンの復習。
12		講義・発表	ジャンプとターンのコンビネーション。	11で学んだストレッチ、筋力トレーニング。連続回転コンビネーションの復習。
13		試験	後期12までのパーレッション及びセンターレッションの内容に対する理解力の確認	12で学んだストレッチ、筋力トレーニング。今までに習ったコンビネーションや回転技が出来るか試してみる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエ C-1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	吉村真司
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の経歴	都内バレエスタジオにてバレエ講師を務める傍らダンサーとしても活動						
授業の学習 内容	クラシックバレエの基礎を理解し、柔軟性・音楽性・表現を高めて、楽しく踊れるようになる。						
到達目標	クラシックバレエの基礎を理解し、柔軟性・音楽性・表現力を高める。楽しく踊れるようになる。						
評価方法と基	実技試験100%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	足、手のポジション、プリエ、タンジュ、ジュッテ、ロンデジャンプの動かし方を学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
2		演習	ジャンプ、グランバットマンの動かし方を学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
3		演習	フォンジュ、フラッペを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
4		演習	軸のアンデオールの意識を高める。センターでタンジュ、ボードブラを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
5		演習	動いている足のアンデオールの意識を高める。正しいアームスの使い方を学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
6		演習	回転に使う顔の付け方を学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
7		演習	ビルエット、ピケターンを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
8		演習	アレグロのバを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
9		演習	グリッサード、シャッセ、ストウニューなどバとバのつなぎのバを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
10		演習	センターでアダージオを学ぶ、上半身の使い方を学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
11		演習	バとバをつなげて少し長いアンシェヌマンを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
12		演習	実技試験のアンシェヌマンを提示し、練習する		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
13		演習	試験(2、3人ずつ踊り身体の使い方、表現を見直す)		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出		
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出		
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 なし							

科目名	バレエ C-2	必修	年次	1	担当教員	吉村真弓
		修	総時間 (単位)	30 2単位		
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一					
教員の略歴	都内バレエスタジオにてバレエ講師を務める傍らダンサーとしても活動					
授業の学習内容	クラシックバレエの基礎を身につける。舞台人としての姿勢を学ぶ。					
到達目標	クラシックバレエの基礎を理解し、柔軟性・音楽性・表現力を高める。楽しく踊れるようになる。					
評価方法及び基準	実技試験100%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	備学習	時間外学習	(学習課題)
1		演習	前期で習得したバレエの基礎の確認	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
2		演習	バーでのタンジュ、ジュッテ、ロンでジャンプの軸の意識を高める	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
3		演習	アダージオの軸の意識を高め、上半身やアームス、頭の付け方を学ぶ	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
4		演習	センターでのタンジュのはアームス、上体の使い方を学ぶ	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
5		演習	ビルエットの質を高める。ビルエットのメインの組み合わせを学ぶ	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
6		演習	アレグロの種類を学び、早い動きに対応出来るように学ぶ	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
7		演習	アレグロの組み合わせを学ぶ	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
8		演習	ターンの質を高める。軸の意識を高めてアンデオールを学ぶ	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
9		演習	グランジャンプを学ぶ	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
10		演習	グランジャンプの質を高める	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
11		演習	総括(アンデオールの意識を高めて、楽しく踊る)	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
12		演習	実技試験のアンシェナマンを提示し、練習する	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
13		演習	試験 (2,3人ずつ踊り、身体の使い方、表現を見直す)	柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出	
準備学習		時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 なし						

科目名	HIPHOP A-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年					
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング					
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		試験・演習	試験	各自授業内容を復習
14		試験・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		試験・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP A-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年					
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング					
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		試験・演習	試験	各自授業内容を復習
14		試験・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		試験・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP B-1		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科	昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年							
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。							
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようになる ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	HIPHOP基礎		各自授業内容を復習			
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)		各自授業内容を復習			
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)		各自授業内容を復習			
4		演習	フリーで踊ろう		各自授業内容を復習			
5		演習	ゲーム形式で踊ろう		各自授業内容を復習			
6		演習	オリジナルムーブを作ろう		各自授業内容を復習			
7		演習	ここまでのまとめ		各自授業内容を復習			
8		演習	HIPHOP基礎～応用		各自授業内容を復習			
9		演習	模擬バトル		各自授業内容を復習			
10		演習	試験の課題を提示		各自授業内容を復習			
11		演習	試験に向けての指導		各自授業内容を復習			
12		演習	プレ試験		各自授業内容を復習			
13		演習	試験		各自授業内容を復習			
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出			
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出			
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。					
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	HIPHOP B-2		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年							
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。							
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	HIPHOP基礎		各自授業内容を復習			
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)		各自授業内容を復習			
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)		各自授業内容を復習			
4		演習	フリーで踊ろう		各自授業内容を復習			
5		演習	ゲーム形式で踊ろう		各自授業内容を復習			
6		演習	オリジナルムーブを作ろう		各自授業内容を復習			
7		演習	ここまでのまとめ		各自授業内容を復習			
8		演習	HIPHOP基礎～応用		各自授業内容を復習			
9		演習	模擬バトル		各自授業内容を復習			
10		演習	試験の課題を提示		各自授業内容を復習			
11		演習	試験に向けての指導		各自授業内容を復習			
12		演習	プレ試験		各自授業内容を復習			
13		演習	試験		各自授業内容を復習			
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出			
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出			
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。					
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	HIPHOP C-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎浩太郎
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴	バックダンサー、振付、舞台、イベント出演など、DA TOKYO&TSMその他講師…約15年					
授業の学習 内容	ストレッチ、アイソレーションなどのボディコントロール、リズムのとり方や基礎ステップなどの説明&練習、リズムトレーニング、基礎でやった事を応用したコンビネーション、助言や生徒同士の意見から自分を見つめ自分を知る作業					
到達目標	リズムが体に自然と入るようにする。体全体が1つに繋がった感覚を身につける。自然と様になった形とグルーブ感で踊れるようにする。自分の理想通り踊れるようにする(自分が気持ちよく踊ると同時に客観的に見て理想の形に近づくように)。仕事の出来る人間、人から仕事を与えたいと思われる人間になる					
評価方法と基準	出席率40%、授業姿勢&取り組み方40%、定期テスト20%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義、演習	自己紹介、レベルチェック	レッスン後のアフターケア
2		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		実技試験	基礎リズム&ボディコントロールのチェック、コンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義、演習	リズムトレーニング応用、それらを使ったコンビネーション	前期の授業内容を確認しておく
13		講義、演習	リズムトレーニング応用、それらを使ったコンビネーション	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP C-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎浩太郎
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴	バックダンサー、振付、舞台、イベント出演など、DA TOKYO&TSMその他講師…約15年					
授業の学習 内容	ストレッチ、アイソレーションなどのボディコントロール、リズムのとり方や基礎ステップなどの説明&練習、リズムトレーニング、基礎でやった事を応用したコンビネーション、助言や生徒同士の意見から自分を見つめ自分を知る作業					
到達目標	リズムが体に自然と入るようにする。体全体が1つに繋がった感覚を身につける。自然と様になった形とグルーヴ感で踊れるようにする。自分の理想通り踊れるようにする(自分が気持ちよく踊ると同時に客観的に見て理想の形に近づくように)。仕事の出来る人間、人から仕事を与えたいと思われる人間になる					
評価方法と基準	出席率40%、授業姿勢&取り組み方40%、定期テスト20%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義、演習	自己紹介、レベルチェック	レッスン後のアフターケア
2		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		実技試験	基礎リズム&ボディコントロールのチェック、コンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義、演習	リズムトレーニング応用、それらを使ったコンビネーション	前期の授業内容を確認しておく
13		講義、演習	リズムトレーニング応用、それらを使ったコンビネーション	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP D-1		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科	昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年							
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・リズム感の向上と細やかな表現力向上 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・表現力を身につける。 ・素早く振付を覚える。 ・フリーに対応できるようになる。 							
評価方法と基準	実技テストによる採点							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		演習	HIPHOP応用 (ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		演習	HIPHOP応用 (リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP D-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・リズム感の向上と細やかな表現力向上 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・表現力を身につける。 ・素早く振付を覚える。 ・フリーに対応できるようになる。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		演習	HIPHOP応用 (ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		演習	HIPHOP応用 (リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP E-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎浩太郎
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴	バックダンサー、振付、舞台、イベント出演など、DA TOKYO&TSMその他講師…約15年					
授業の学習 内容	ストレッチ、アイソレーションなどのボディコントロール、リズムのとり方や基礎ステップなどの説明&練習、リズムトレーニング、基礎でやった事を応用したコンビネーション、助言や生徒同士の意見から自分を見つめ自分を知る作業					
到達目標	リズムが体に自然と入るようにする。体全体が1つに繋がった感覚を身につける。自然と様になった形とグルーヴ感で踊れるようにする。自分の理想通り踊れるようにする(自分が気持ちよく踊ると同時に客観的に見て理想の形に近づくように)。仕事の出来る人間、人から仕事を与えたいと思われる人間になる					
評価方法と基準	出席率40%、授業姿勢&取り組み方40%、定期テスト20%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義、演習	自己紹介、レベルチェック	レッスン後のアフターケア
2		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		実技試験	基礎リズム&ボディコントロールのチェック、コンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義、演習	リズムトレーニング応用、それらを使ったコンビネーション	前期の授業内容を確認しておく
13		講義、演習	リズムトレーニング応用、それらを使ったコンビネーション	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP E-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎浩太郎
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴	バックダンサー、振付、舞台、イベント出演など、DA TOKYO&TSMその他講師…約15年					
授業の学習 内容	ストレッチ、アイソレーションなどのボディコントロール、リズムのとり方や基礎ステップなどの説明&練習、リズムトレーニング、基礎でやった事を応用したコンビネーション、助言や生徒同士の意見から自分を見つめ自分を知る作業					
到達目標	リズムが体に自然と入るようにする。体全体が1つに繋がった感覚を身につける。自然と様になった形とグルーブ感で踊れるようにする。自分の理想通り踊れるようにする(自分が気持ちよく踊ると同時に客観的に見て理想の形に近づくように)。仕事の出来る人間、人から仕事を与えたいと思われる人間になる					
評価方法と基準	出席率40%、授業姿勢&取り組み方40%、定期テスト20%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義、演習	自己紹介、レベルチェック	レッスン後のアフターケア
2		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義、演習	基礎リズム&ボディコントロールの説明と練習、それらを使ったコンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		実技試験	基礎リズム&ボディコントロールのチェック、コンビネーション	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義、演習	リズムトレーニング応用、それらを使ったコンビネーション	前期の授業内容を確認しておく
13		講義、演習	リズムトレーニング応用、それらを使ったコンビネーション	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Freestyle A-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年					
授業の学習内容	基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究 Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。 毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、 バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。					
到達目標	1. 挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。 2. 怪我をしない身体作りを理解できる。 3. 身体のパーツの使い方を理解し使える。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーションの基本	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に より複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに 合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜 東京スクールオブミュージック専門学校/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	Freestyle A-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年					
授業の学習内容	基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究 Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。 毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバル キューイングにてしっかり指導を行う。					
到達目標	「1. 挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2. 怪我をしない身体作り を理解できる。3. 身体のパーツの使い方を理解し使える。」					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。		レッスン後のアフターケア	
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習	レッスン後のアフターケア	
3		講義・演習	アイソレーションの基本	前回の復習	レッスン後のアフターケア	
4		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習	レッスン後のアフターケア	
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習	レッスン後のアフターケア	
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に複雑な動かし方の研究。	前回の復習	レッスン後のアフターケア	
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習	レッスン後のアフターケア	
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習	レッスン後のアフターケア	
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習	レッスン後のアフターケア	
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習	レッスン後のアフターケア	
11		講義・演習	テスト	前回の復習	レッスン後のアフターケア	
12		講義・演習	後期試験		後期の授業内容を確認しておく	
13		講義・演習	授業のまとめ		理解できていないこと、質問等をまとめておく	
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出	
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出	
準備学習		時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】						
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜						
東京スクールオブミュージック専門学校/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校						

科目名	Free Style B-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	IORI SOMA
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単 位)		
教員の略歴	アメリカ・ロサンゼルスでダンサーとして活動、日本ではWS、MV等出演						
授業の学習 内容	①日本にいても海外のスタイルを学べるため ②他のダンスにも応用できる技術を身に付ける ③世界でも活躍できるダンサー ④ストレッチ、アイソレーション、振り付けを通し、身体作りスキルの向上						
到達目標	基礎を学び、個々のダンススタイルを確立する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	身体作り	筋力トレーニング
2		講義・演習	ストレッチ	自分の体の特徴を知る
3		講義・演習	アイソレーション	アイソレーションの復習
4		講義・演習	ストレッチ、アイソレーションの応用	応用の復習
5		講義・演習	コンビネーション	コンビネーション復習
6		講義・演習	カウントの取り方	授業内容の復習
7		講義・演習	音の取り方、感じ方	曲を聞いて音とカウントを意識する
8		講義・演習	身体の使い方	アイソレーションを意識する
9		講義・演習	音を取り入れた身体の使い方	音によって異なる身体の使い方を考える
10		講義・演習	重心、シルエットの運び方	自分の体と向き合い自分の癖を考える
11		講義・演習	振り付けと音の結びつき	洋楽の音・歌詞の意味を考える
12		講義・演習	力の強弱と振り付けの緩急	自分の個性に合わせた魅せ方を知る
13		講義・演習	テスト	これまでの授業の復習・今後の課題を見据える
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			筋肉トレーニングを基盤とした授業内容の反復練習。また授業で扱った楽曲が洋楽である場合、英語の意味を自分で調べ日頃からの英語学習を心掛ける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	Free Style B-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	IORI SOMA
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単 位)		
教員の略歴	アメリカ・ロサンゼルスでダンサーとして活動、日本ではWS、MV等出演						
授業の学習 内容	①日本にいても海外のスタイルを学べるため ②他のダンスにも応用できる技術を身に付ける ③世界でも活躍できるダンサー ④ストレッチ、アイソレーション、振り付けを通し、身体作りスキルの向上						
到達目標	基礎を学び、個々のダンススタイルを確立する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	身体作り	筋カトレーニング
2		講義・演習	ストレッチ	自分の体の特徴を知る
3		講義・演習	アイソレーション	アイソレーションの復習
4		講義・演習	ストレッチ、アイソレーションの応用	応用の復習
5		講義・演習	コンビネーション	コンビネーション復習
6		講義・演習	カウントの取り方	授業内容の復習
7		講義・演習	音の取り方、感じ方	曲を聞いて音とカウントを意識する
8		講義・演習	身体の使い方	アイソレーションを意識する
9		講義・演習	音を取り入れた身体の使い方	音によって異なる身体の使い方を知る
10		講義・演習	重心、シルエットの運び方	自分の体と向き合い自分の癖を考える
11		講義・演習	振り付けと音の結びつき	洋楽の音・歌詞の意味を考える
12		講義・演習	力の強弱と振り付けの緩急	自分の個性に合わせた魅せ方を知る
13		講義・演習	テスト	これまでの授業の復習・今後の課題を見据える
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		筋肉トレーニングを基盤とした授業内容の反復練習。また授業で扱った楽曲が洋楽である場合、英語の意味を自分で調べ日頃からの英語学習を心得る。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンテンポラリー 1	必修 選択	選択	年次	1年	担当教員	能美健志
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー						
授業の学習 内容	①なぜこの授業を受けなければならないのか②どの科目と関係するのか、その位置づけ ③学生にどうなって欲しいか④※1~3をふまえたような授業を展開するか ①コンテンポラリーダンスは高い柔軟性と強い体幹が必然です。つまりあらゆるダンスの動きに適用する 身体になるという事。②バレエ、テーマパーク、ジャズダンス等に応用可能。③最初は、ポジション、 ムーブメントなど分からない事ばかりですが、継続することでダンサーの身体になっていきます。④コン テンポラリーダンスの基礎とポジション、ダンスクラシックの理解。姿勢、骨と筋肉の正しい使い方を 学ぶ。						
到達目標	初歩的な身体構造の理解。正しい姿勢と立ち方、骨と筋肉の使い方を習得する。目標→骨とインナーマッ スルの正しい連動を理解する事で外側に見える動きのクオリティーの向上を目指す。						
評価方法と基準	出席率60%、授業態度20%、実技試験20% 理想レベル85%、標準レベル75% *時間外学習→毎日ストレッチ等をするこ柔軟性と関節の可動域を広げる。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーションと身体の骨と筋肉の説明と理解。	シラバス等を見て準備する。
2		講義・演習	①腸腰筋の引き上げと正しい姿勢。立ち方。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
3		講義・演習	②インナーマッスルの理解と応用。①の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
4		講義・演習	③フロアエクササイズとストレッチの理解。①~②の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
5		講義・演習	④センターエクササイズとストレッチの理解。①~③の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
6		講義・演習	⑤クロスフロアステップの理解。①~④の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
7		講義・演習	⑥コンビネーションの理解。①~⑤の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
8		講義・演習	⑦クロスフロアステップの基礎。①~⑦の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
9		講義・演習	⑧コンビネーションの基礎。①~⑧の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
10		講義・演習	⑨クロスフロアの応用。①~⑨の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
11		講義・演習	⑩コンビネーションの応用。①~⑩の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
12		講義・演習	⑪動きとインナーマッスル繋がりの理解。①~⑪の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習、ストレッチ等を反復をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着は身体ラインが見える物。裸足or靴下。				

科目名	コンテンポラリー 2	必修 選択	選択	年次	1年	担当教員	能美健志
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー						
授業の学習 内容	①体の中心軸（背骨を中心した骨盤、胸郭、頭の正しい位置）とインナーマッスルの使い方を理解してアカデミックな動きに繋げる事でバレエ、テーマパーク、ジャズダンス等に应用可能なダンサーの身体になります。 ②正しいダンサーの身体になる為の内側の骨と筋肉の使い方に気づいて欲しい。 ③コンテンポラリーダンスのポジション、ダンスクラシックの更なる理解。呼吸法、姿勢、骨とインナーマッスルの正しい使い方を学ぶ。 ④メンタル講義を行う。						
到達目標	体幹軸を習得する事で、アカデミックな動きに対応出来、正しい骨とインナーマッスルの使い方を旨す。ダンスで大事なメンタル面の強化を図る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	①成長する為の心構え。骨とインナーマッスルの確認と内転筋の理解	前期のレッスン経験の確認。
2		講義・演習	②腸腰筋の引き上げと腹筋と内転筋の繋がりを理解。	①の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
3		講義・演習	③エクササイズ、ストレッチの更なる理解と新ステップの理解。	②の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
4		講義・演習	④新ステップ、新コンビネーションの理解。	③の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
5		講義・演習	⑤新ステップ、①～③の反復。	④の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
6		講義・演習	⑥新ステップ、①～④の反復。	⑤の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
7		講義・演習	⑦新ステップ、①～⑤の反復。	⑥の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
8		講義・演習	⑧新ステップ、①～⑥の反復。	⑦の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
9		講義・演習	⑨新ステップの反復。新コンビネーションの理解。①～⑧の反復。	⑧の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
10		講義・演習	⑩新ステップの反復。新コンビネーションの反復。①～⑨の反復。	⑨の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
11		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策。
12		講義・演習	成長のプロセスのメンタル講義	筆記用具持参。復習、理解。
13		講義・演習	ポジティブ、ネガティブのメンタル講義	筆記用具持参。復習、理解。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容を理解力、確認して自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等反復をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着は身体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	テーマパークA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	クラシックバレエを基礎としたアイソレーションを繰り返し行い、基礎を身につける。 身体の柔軟性を上げるためのストレッチ。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上のためのクロスフロア。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、しっかりとしたダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	身体の使い方を学ぶ	授業内容を自主練習
3		講義・演習	アームスの正しいポジションを学ぶ	授業内容を自主練習
4		講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
5		講義・演習	バレエポジションを覚える	授業内容を自主練習
6		講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ	授業内容を自主練習
7		講義・演習	様々なターンの説明	授業内容を自主練習
8		講義・演習	ターンをきれいに回る	授業内容を自主練習
9		講義・演習	様々なジャンプの説明	授業内容を自主練習
10		講義・演習	ジャンプを正しく飛ぶ	授業内容を自主練習
11		講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
12		講義・演習	クロスフロアを行う	授業内容を自主練習
13		講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	前期で行ったテクニックの練習を引き続き行う。 振りうつしをカウントで行い、振り覚えのスピードを上げる練習後、 音楽に合わせて踊る。						
到達目標	リズムをしっかりと感じ、個性豊かな創造性を身につける。 プロの世界でも通用するようなダンススキルを習得できることを 目的とする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	苦手なテクニックを自覚し練習	授業内容を自主練習
3		講義・演習	ターン、ジャンプなど確認	授業内容を自主練習
4		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
5		講義・演習	振りの中でのテクニックの応用	授業内容を自主練習
6		講義・演習	振りの中での表現力の向上	授業内容を自主練習
7		講義・演習	振り覚えのスピードを上げる	授業内容を自主練習
8		講義・演習	振りの中での表情をつける	授業内容を自主練習
9		講義・演習	より高度な振りを覚える	授業内容を自主練習
10		講義・演習	舞台などでの魅せ方	授業内容を自主練習
11		講義・演習	テクニックの向上練習	授業内容を自主練習
12		講義・演習	集中力の作り方	授業内容を自主練習
13		講義・演習	オーディションでのメンタル	授業内容を自主練習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	柳原華奈
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	1/30 2単位		
教員の略歴	サンリオピューロランド(ライブエンターティナー)・東京ディズニーリゾート(ダンサー)						
授業の学習 内容	一年後のテーマパークオーディションに向けて、基礎を大切に、身体技術と表現力を高める。 レオタード、髪型、メイクなどのアドバイス。 自分の優れている部分、苦手な部分を理解して、同じクラスのメンバーと協力しながら高め合って欲しい。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦手な部分を理解し、改善方法を見つけ取り組む。(振り覚え、体の管理など) ・ 人の良い部分を見つけ、すぐ取り入れられるような身体能力と柔軟な対応力を身につける。 						
評価方法と基準	<p>定期試験100%(ダンス実技・出席率) 理想のレベル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オーディションで対面の審査まで通過できる。 ・ 人の良い部分を見つけ、すぐ自身に取り入れられる身体能力と観察力。 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1/1		演習	ウォーミングアップや基礎トレーニングを理解する。	授業内容の復習
1/2		演習	①基礎的な振付を覚える	振りを覚える
1/3		演習	①自分の改善点を見つける	自主練習や動画を確認して修正してくる
1/4		演習	①自分で修正した部分が出せているか理解する	アドバイスを聞き修正してくる
1/5		演習	①1週目との変化を観察する	動画などで自分の姿をチェック
1/6		演習	②振付を覚え、鏡なしで踊る	振りを覚える
1/7		演習	②自分の改善点を見つける	動画などで鏡がない時の姿勢や目線を確認する
1/8		演習	②ペアになり、良い点・気になる点を言い合う	アドバイスを聞き修正してくる
1/9		演習	②鏡なしで自分の思った通りに体を動かせるようになる	動画などで自分の姿をチェック
1/10		演習	③振りを覚える(テストに向けて)	振りを覚える
1/11		演習	③自分の改善点を見つける	テストに向け自主練習
1/12		演習	③(仮)テスト	出来た事・出来なかった事を考える
1/13		演習	③テストの振り返りや今後の改善点を見つける	出来た事・出来なかった事を考える
1/14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
1/15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習		時間外学習		
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	テーマパークB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	柳原華奈
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	1/30 2単位		
教員の略歴	サンリオピューロランド(ライブエンターテイナー)・東京ディズニーリゾート(ダンサー)						
授業の学習 内容	一年後のテーマパークオーディションに向けて、基礎を大切に、身体技術と表現力を高める。 レオタード、髪型、メイクなどのアドバイス。 自分の優れている部分、苦手な部分を理解して、同じクラスのメンバーと協力しながら高め合って欲しい。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦手な部分を理解し、改善方法を見つけ取り組む。(振り覚え、体の管理など) ・ 人の良い部分を見つけ、すぐ取り入れられるような身体能力と柔軟な対応力を身につける。 						
評価方法と基準	<p>定期試験100%(ダンス実技・出席率) 理想のレベル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オーディションで対面の審査まで通過できる。 ・ 人の良い部分を見つけ、すぐ自身に取り入れられる身体能力と観察力。 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1/1		演習	ウォーミングアップや基礎トレーニングを理解する。	授業内容の復習
1/2		演習	①基礎的な振付を覚える	振りを覚える
1/3		演習	①自分の改善点を見つける	自主練習や動画を確認して修正してくる
1/4		演習	①自分で修正した部分が出せているか理解する	アドバイスを聞き修正してくる
1/5		演習	①1週目との変化を観察する	動画などで自分の姿をチェック
1/6		演習	②振付を覚え、鏡なしで踊る	振りを覚える
1/7		演習	②自分の改善点を見つける	動画などで鏡がない時の姿勢や目線を確認する
1/8		演習	②ペアになり、良い点・気になる点を言い合う	アドバイスを聞き修正してくる
1/9		演習	②鏡なしで自分の思った通りに体を動かせるようになる	動画などで自分の姿をチェック
1/10		演習	③振りを覚える(テストに向けて)	振りを覚える
1/11		演習	③自分の改善点を見つける	テストに向け自主練習
1/12		演習	③(仮)テスト	出来た事・出来なかった事を考える
1/13		演習	③テストの振り返りや今後の改善点を見つける	出来た事・出来なかった事を考える
1/14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
1/15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	テーマパークC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	クラシックバレエを基礎としたアイソレーションを繰り返し行い、 基礎を身につける。 身体の柔軟性を上げるためのストレッチ。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上のためのクロスフロア。 振り付けを行いカウントで覚えて、その後音楽で踊る。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、しっかりとしたダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。 オーディション合格に向けて振り覚えのスピードを上げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	覚えた振りで表現の練習	授業内容を自主練習
3		講義・演習	振りの正しいポジションを確認	授業内容を自主練習
4		講義・演習	新しい振り付けを覚える	授業内容を自主練習
5		講義・演習	それぞれの個性をいかして踊る	授業内容を自主練習
6		講義・演習	それぞれの苦手な所を練習	授業内容を自主練習
7		講義・演習	様々なパターンの振りを覚える	授業内容を自主練習
8		講義・演習	振りで全体的に緩急をつける	授業内容を自主練習
9		講義・演習	振りの中でのテクニックを確認	授業内容を自主練習
10		講義・演習	新たな振り付けを覚える	授業内容を自主練習
11		講義・演習	ターンとジャンプのクオリティー強化	授業内容を自主練習
12		講義・演習	自分にしかできない表現力を考える	授業内容を自主練習
13		講義・演習	新しい振りでテストを行う	授業内容を自主練習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークC-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴16年						
授業の学習 内容	前期で行ったテクニックの練習を引き続き行う。 振りうつしをカウントで行い、振り覚えのスピードを上げる練習後、 音楽に合わせて踊る。						
到達目標	リズムをしっかりと感じ、個性豊かな創造性を身につける。 プロの世界でも通用するようなダンススキルを習得できることを 目的とする。オーディション合格を目標とする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	苦手なテクニックを自覚し練習	授業内容を自主練習
2		講義・演習	ターン、ジャンプなど確認	授業内容を自主練習
3		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
4		講義・演習	振りの中でのテクニックの応用	授業内容を自主練習
5		講義・演習	振りの中での表現力の向上	授業内容を自主練習
6		講義・演習	振り覚えのスピードを上げる	授業内容を自主練習
7		講義・演習	振りの中での表情をつける	授業内容を自主練習
8		講義・演習	より高度な振りを覚える	授業内容を自主練習
9		講義・演習	オーディションなどでの魅せ方	授業内容を自主練習
10		講義・演習	テクニックの向上練習	授業内容を自主練習
11		講義・演習	集中力の作り方	授業内容を自主練習
12		講義・演習	オーディションでのメンタル	授業内容を自主練習
13		講義・演習	長めの振りでテスト	授業内容を自主練習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ヴォイストレーニング A-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	細井康行
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	東京音楽大学研究科オペラコース卒 滋慶学園勤務18年 ヴォイストレーナー歴30年						
授業の学習 内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌う為に必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2. ダンスと歌唱は身体表現が密接に関係しており双方にメリットがある 3. この授業を通して歌っておどってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて行って欲しい 4. オリジナルの基本姿勢と呼吸法と発声法を細かく1人1人のコンディションに合わせて展開して行く 5. オーディションやステージ上でも揺るがないメンタルを構築する 						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリジナルの体幹理論により姿勢、呼吸、発声法を矯正し、よりクオリティの高いパフォーマンスが可能となる 2. Dance&singに必要な呼吸法と発声法を学ぶ事により更にハイスベックな歌唱力が手に入れる事ができる 3. 最終的にDance&singでブレない発声法とつかれない身体とキレのあるDanceパフォーマンスが可能になる 4. メンタルを鍛える事によりブレないパフォーマンスが期待できる 5. 学生それぞれに適したマイキングを学び、よりクオリティの高い歌唱へと導く 6. Dance&Singでしか習得できないパフォーマンスの精度を上げる 						
評価方法と基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の出席率と日々の授業態度 50% 2. 歌唱&パフォーマンステスト30% 3. 礼儀 * 機材セッティング等の協力体制20% 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ヴォイストレーニング及びオリジナル体幹理論による呼吸法・姿勢	講師サイドでオリジナル教材準備、配布
2		講義・演習	現時点での音域チェック及び曲選定	音域チェックシート及び音源準備
3		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート準備
4		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング (Dance無し)	iPad撮影
6		講義・演習	マイキング (Danceあり)	iPad撮影
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入&iPad撮影
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入&iPad撮影
9		講義・演習	表情筋と歌唱を繋げる	ミラーチェック
10		講義・演習	表情筋と歌唱とダンスの融合	ミラーチェック及びipad撮影
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	ミラーチェック及びipad撮影
12		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入&iPad撮影
13		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入&iPad撮影
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		歌唱する曲の音源と手書きの歌詞カード及び音源準備		
【使用教科書・教材・参考書】				
Visible body/ オリジナルトライ体幹理論/人体模型				

科目名	ヴォイストレーニング A-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	細井康行
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	東京音楽大学研究科オペラコース卒 滋慶学園勤務18年 ヴォイストレーナー歴30年						
授業の学習 内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌う為に必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2. ダンスと歌唱は身体表現が密接に関係しており双方にメリットがある 3. この授業を通して歌っておどってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて行って欲しい 4. オリジナルの基本姿勢と呼吸法と発声法を細かく1人1人のコンディションに合わせて展開して行く 5. オーディションやステージ上でも揺るがないメンタルを構築する 						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリジナルの体幹理論により姿勢、呼吸、発声法を矯正し、よりクオリティの高いパフォーマンスが可能となる 2. Dance&singに必要な呼吸法と発声法を学ぶ事により更にハイスベックな歌唱力が手に入れる事ができる 3. 最終的にDance&singでブレない発声法とつかれない身体とキレのあるDanceパフォーマンスが可能になる 4. メンタルを鍛える事によりブレないパフォーマンスが期待できる 5. 学生それぞれに適したマイキングを学び、よりクオリティの高い歌唱へと導く 6. Dance&Singでしか習得できないパフォーマンスの精度を上げる 						
評価方法と基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の出席率と日々の授業態度 50% 2. 歌唱&パフォーマンステスト30% 3. 礼儀 * 機材セッティング等の協力体制20% 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ヴォイストレーニング及びオリジナル体幹理論による呼吸法・姿勢	講師サイドでオリジナル教材準備、配布
2		講義・演習	現時点での音域チェック及び曲選定	音域チェックシート及び音源準備
3		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート準備
4		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング (Dance無し)	iPad撮影
6		講義・演習	マイキング (Danceあり)	iPad撮影
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入&iPad撮影
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入&iPad撮影
9		講義・演習	表情筋と歌唱を繋げる	ミラーチェック
10		講義・演習	表情筋と歌唱とダンスの融合	ミラーチェック及びipad撮影
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	ミラーチェック及びipad撮影
12		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入&iPad撮影
13		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入&iPad撮影
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		歌唱する曲の音源と手書きの歌詞カード及び音源準備		
【使用教科書・教材・参考書】				
Visible body/ オリジナルトライ体幹理論/人体模型				

科目名	ヴォイストレーニング B-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1. 歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2. ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3. この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4. オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1. オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2. Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3. 最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニング B-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1. 歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2. ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3. この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4. オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1. オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2. Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3. 最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1. 歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2. ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3. この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4. オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1. オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2. Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3. 最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニング C-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1. 歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2. ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3. この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4. オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1. オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2. Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3. 最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニング D-1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	KYO-HEY
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	*実務経験(Dance & Vocal) : WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」 BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本・6位) 2019年 ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催 2021年6月 2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム) 2021年10月 「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップソング) 2022年8月 NY Apollo Theater Amateur Night 出演 (2018年4月~NSM, DA, TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)						
授業の学習 内容	①ヴォーカリストとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。 ②自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドを習得する。						
到達目標	ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。						
評価方法と基準	・課題成果「出席・授業態度」 : 40% ・実技試験 : 60%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	個人目標設定を行う	次の講義までに復習を要する
2		演習	横隔膜を意識した腹式呼吸が出来るようになる	次の講義までに復習を要する
3		演習	ボディマップを正確に理解する	次の講義までに復習を要する
4		演習	筋感覚を意識することで包括的認識力を知る	次の講義までに復習を要する
5		演習	歌唱時の正しい口の形を知る	次の講義までに復習を要する
6		演習	正しい口の形を意識した歌唱が出来る	次の講義までに復習を要する
7		演習	共鳴(頭部)について理解する	次の講義までに復習を要する
8		演習	歌唱前のストレッチから正しい体の使い方のアプローチ方法を知る。	次の講義までに復習を要する
9		演習	A0関節のバランスを取れるようになる(首の無駄な緊張をなくす)	次の講義までに復習を要する
10		演習	腰椎と胸郭のバランス、股関節のバランスを理解する	次の講義までに復習を要する
11		演習	ブレスとリズムの関係性を知る	次の講義までに復習を要する
12		演習	試験	これまでの復習を要する
13		演習	試験総括(改善点を知る)	これまでの復習を要する
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		・パフォーマンスをする楽曲は歌詞を暗記して来ること ・歌詞をノートに書いて持って来ること		
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad(カラオケ音源)、マイク、キーボード				

東京スクールオブミュージック専門学校/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	ヴォイストレーニング D-2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	KYO-HEY
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	<p>*実務経験(Dance & Vocal) : WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」 BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り□2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本・6位) □2019年 ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催□2021年6月 2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム□日本 1位) □2021年10月 「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・□日本2位) □2022年8月 NY Apollo Theater Amateur Night 出演□2018年4月～NSM, DA, TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)</p>						
授業の学習 内容	<p>①ヴォーカリストとして□必要な実戦に活かせる知識を習得する。 ②自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインド□含め習得する。</p>						
到達目標	<p>ステージパフォーマンス強化を目的とする。□ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、□ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。</p>						
評価方法と基準	<p>・課題成果「出席・授業態度」 : 40% ・実技試験 : 60%</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	共鳴の仕組み、効果を知る	次の講義までに復習を要する
2		演習	鼻腔共鳴が出来るようになる	次の講義までに復習を要する
3		演習	頭部共鳴(ヘッドボイス)が出来るようになる	次の講義までに復習を要する
4		演習	母音歌唱を通してメロディのコード感を理解する	次の講義までに復習を要する
5		演習	肩関節と足関節のバランスと体重が伝わる 道筋を理解する	次の講義までに復習を要する
6		演習	を理解しプレスを改善することで 豊かな表現力を習得する	次の講義までに復習を要する
7		演習	胸部共鳴が出来るようになる	次の講義までに復習を要する
8		演習	ビブラートの仕組み、練習法を知る	次の講義までに復習を要する
9		演習	ビブラートが出来るようになる	次の講義までに復習を要する
10		演習	リズムを意識したビブラートを出来るようになる	次の講義までに復習を要する
11		演習	フェイクの仕組み、練習法を知る	次の講義までに復習を要する
12		演習	試験	これまでの復習を要する
13		演習	試験総括(改善点を知る)	これまでの復習を要する
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		<p>・パフォーマンスをする楽曲は歌詞を暗記して来ること ・歌詞をノートに書いて持って来ること</p>		
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad(カラオケ音源)、マイク、キーボード				

科目名	Heels 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 関根アヤノ
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴	振付師/演出家 LiSA 専属振付師2014~ プレイヤー/ 安室奈美恵、木村拓哉、SMAP、ケツメイシ、JUJUなどその他etc、					
授業の学習 内容	<p>■ 三大ダンス教育目標</p> <p>(1) 基礎ダンス力の向上</p> <p>(2) 自分の魅せ方&表現方法についての自身研究</p> <p>(3) 現場対応能力&コミュニケーション能力の向上</p>					
到達目標	<p>・ 去年との自分と比較してどのくらい変化があったのか実感できたか</p> <p>・ 普段の授業でもしっかりとした受け答え、コミュニケーションを取れるようになる。(現場に生かす)</p> <p>・ 現場では女子振りやJAZZはマストになるので唯一無二の存在感やオーラ、魅せ方を取得</p>					
評価方法と基準	<p>・ 定期テスト60% ・ 出席数20% ・ 授業に向き合う姿勢 20%</p>					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義、演習	基礎トレーニング / 振付指導	まずは各々身体能力チェック
2		講義、演習	体幹トレーニング / 振付指導	自身の体の弱い部分を体幹で補う
3		講義、演習	自身の可動範囲チェック/ 振付指導	現時点で自分に何が足りないのか?自分自身のキャパシティを認識する
4		講義、演習	振付けメイン	振付反復練習(最近観ている多いのが、1人で練習&確認する事が苦手な子を見かけるので、練習の仕方&集中力の維持な仕方を学ぶ)
5		講義、演習	少人数に分けて踊る	・ (1) 1人でも負けないメンタルを鍛える
6		講義、演習	魅せ方研究 / 振付指導	ゆっくりと時間を掛けて向き合う
7		講義、演習	細かく時間を掛けて振付指導(魅せ方メイン)	反復練習&とにかく自分の一番良い表現方法を探す
8		講義、演習	振付の中にFreestyleも入れて課題を提示	対応能力向上の為
9		講義、演習	少人数に分けて踊る(出来る子はソロ)	(2) 撮影も兼ね、時間を掛けた結果自分がどこまで出来たのか試す
10		講義、演習	対応能力を鍛えるため、振り渡しを長く早く入れる	脳内トレーニング
11		講義、演習	更に脳内容量を増やす為に、2週目も振付けを沢山渡す	現場対応能力を向上させる為のトレーニング
12		講義、演習	長い楽曲+構成を各自付けていくトレーニング	構成能力&コミュニケーション能力向上。人に与えられたモノをこなすのではなく自分たちで生み出す能力を鍛える
13		講義、演習	少人数に分けて踊る(出来る子はソロ)	(3) 対応能力向上の為に、長く&早く入れられた振付けをどこまでついてこれるのか試す
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Heels 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	関根アヤノ
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	振付師/演出家 LiSA 専属振付師2014~ プレイヤー/ 安室奈美恵、木村拓哉、SMAP、ケツメイシ、JUJUなどその他etc、、、						
授業の学習 内容	<p>■ 三大ダンス教育目標</p> <p>(1) 基礎ダンス力の向上</p> <p>(2) 自分の魅せ方&表現方法についての自身研究</p> <p>(3) 現場対応能力&コミュニケーション能力の向上</p>						
到達目標	<p>・ 去年との自分と比較してどのくらい変化があったのか実感できたか</p> <p>・ 普段の授業でもしっかりと受け答え、コミュニケーションを取れるようになる。(現場に生かす)</p> <p>・ 現場では女子振りやJAZZはマストになるので唯一無二の存在感やオーラ、魅せ方を取得</p>						
評価方法と基準	<p>・ 定期テスト60% ・ 出席数20% ・ 授業に向き合う姿勢 20%</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義、演習	基礎トレーニング / 振付指導	まずは各々身体能力チェック
2		講義、演習	体幹トレーニング / 振付指導	自身の体の弱い部分を体幹で補う
3		講義、演習	自身の可動範囲チェック/ 振付指導	現時点で自分に何が足りないのか?自分自身のキャパシティを認識する
4		講義、演習	振付けメイン	振付反復練習(最近観ている多いのが、1人で練習&確認する事が苦手な子をも見かけるので、練習の仕方&集中力の維持な仕方を学ぶ)
5		講義、演習	少人数に分けて踊る	・ (1) 1人でも負けないメンタルを鍛える
6		講義、演習	魅せ方研究 / 振付指導	ゆっくりと時間を掛けて向き合う
7		講義、演習	細かく時間を掛けて振付指導(魅せ方メイン)	反復練習&とにかく自分の一番良い表現方法を探す
8		講義、演習	振付の中にFreestyleも入れて課題を提示	対応能力向上の為
9		講義、演習	少人数に分けて踊る(出来る子はソロ)	(2) 撮影も兼ね、時間を掛けた結果自分がどこまで出来たのか試す
10		講義、演習	対応能力を鍛えるため、振り渡しを長く早く入れる	脳内トレーニング
11		講義、演習	更に脳内容量を増やす為に、2週目も振付けを沢山渡す	現場対応能力を向上させる為のトレーニング
12		講義、演習	長い楽曲+構成を各自付けていくトレーニング	構成能力&コミュニケーション能力向上。 人に与えられたモノをこなすのではなく自分たちで生み出す能力を鍛える
13		講義、演習	少人数に分けて踊る(出来る子はソロ)	(3) 対応能力向上の為に、長く&早く入れられた振付けをどこまでついてこれるのか試す
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイション 1 (ダンス)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	HIYO
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一						
教員の略歴	ダンスインストラクター・コレオグラファー・ダンサー・ダンスディレクター・ダンスコーディネーター						
授業の学習 内容	<p>①ダンス関係の職業に着くためには、モラル、団結力、振り付け能力、先見性、習慣性、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、DANCEのスキルアップ、ステージ経験、リーダーシップ、時間管理能力、積極性……と、多くの能力が必要となるため。</p> <p>②ダンスのオールジャンル……バレエ・JAZZ・コンテンポラリー・HIPHOP・JAZZHIPHOP・ガールズHIPHOP・KPOP・R&B・インストラクターなど……</p> <p>全てのジャンルが作品作りに役立つ為、全ての科目に関係します。</p> <p>③このCreationに参加し、ダンス関係の仕事が出来る人材になれるよう、多くの事を学んで欲しい。</p>						
到達目標	<p>上記の必要条件を求められる中、自由でありながらキチンと縛りのある環境の中で、自分達の求める人と求める曲で求める作品を作っていく。時には縛りのある作品を求められることも……</p> <p>自己満足で終わらない、観客の求めるニーズのある作品とは何かを、少しずつ苦しみながら楽しみながらわかっていく、とてもクリエイティブな時間である。その題材を通してディレクションを受けながら、人との関わり方や、ステージでの見せかたを学んでいく。□</p>						
評価方法と基準	<p>イベント本番作品チェックでの採点……45%</p> <p>出席率……50%</p> <p>その他(役割・振り付けなど積極性)……5%</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Creationでのルール、業界でのモラル、決まり、心得などについての講義。リーダー決定の話合い。	持ち物……Creationシートを作成し、持ち参し、メモを取る習慣を必ず身につける
2		講義・演習	学園祭のコンセプト、求められる作品について指導。チーム・作品のテーマ・曲を決める。	前回の復習
3		講義・演習	自主練・アイデアの出し合い・選曲や編集の確認・作品確認・コンセプトの報告。	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
4		講義・演習	ディレクションのやり方、注意点、学べき点の指導。シューミレーションにて速やかな団体行動の指導。	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
5		講義・演習	チームごとにディレクション・作品指導を行う。この作業を学園祭本番までやっていきます。	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
6		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
7		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
8		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
9		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
10		講義・演習	教務の先生方による作品チェックがあります。	チームでの練習(リハーサル)
11		講義・演習	フォーメーションシートや音源提出に関しての指導。	チームでの練習(リハーサル)
12		講義・演習	通しリハーサルなど	チームでの練習(リハーサル)
13		講義・演習	学園祭反省会。We Areのテーマ決め。	授業を通しての復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイション 2 (ダンス)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	HIYO
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ダンスインストラクター・コレオグラファー・ダンサー・ダンスディレクター・ダンスコーディネーター						
授業の学習 内容	<p>①ダンス関係の職業に着くためには、モラル、団結力、振り付け能力、先見性、習慣性、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、DANCEのスキルアップ、ステージ経験、リーダーシップ、時間管理能力、積極性……と、多くの能力が必要となるため。</p> <p>②ダンスのオールジャンル……バレエ・JAZZ・コンテンポラリー・HIPHOP・JAZZHIPHOP・ガールズHIPHOP・KPOP・R&B・インストラクターなど……</p> <p>全てのジャンルが作品作りに役立つ為、全ての科目に関係します。</p> <p>③このCreationに参加し、ダンス関係の仕事が出来る人材になれるよう、多くの事を学んで欲しい。</p>						
到達目標	<p>上記の必要条件を求められる中、自由でありながらキチンと縛りのある環境の中で、自分達の求める人と求める曲で求める作品を作っていく。時には縛りのある作品を求められることも……</p> <p>自己満足で終わらない、観客の求めるニーズのある作品とは何かを、少しずつ苦しみながら楽しみながらわかっていく、とてもクリエイティブな時間である。その題材を通してディレクションを受けながら、人との関わり方や、ステージでの見せかたを学んでいく。□</p>						
評価方法と基準	<p>イベント本番作品チェックでの採点……45%</p> <p>出席率……50%</p> <p>その他(役割・振り付けなど積極性)……5%</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	WE AREのチームコンセプトのプレゼン	持ち物……Creationノートを作成し、持参し、メモを取る習慣を必ず身につける。
2		講義・演習	コンセプト決定のチームから曲選考。講師から曲のOKをもらったら振り付けを開始する。	前回の復習
3		講義・演習	作品作成・アイデアの出し合い・選曲や編集の確認・作品確認をしていく。	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
4		講義・演習	ディレクションのやり方、注意点、学ばべき点の指導。シュミレーションにて速やかな団体行動の指導。	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
5		講義・演習	チームごとにディレクション・作品指導を行う。この作業をWE ARE本番までやっていきます。	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
6		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
7		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
8		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
9		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
10		講義・演習	教務の作品チェック	チームでの練習(リハーサル)
11		講義・演習	フォーメーションシートや音源提出についての指導。	チームでの練習(リハーサル)
12		講義・演習	通しリハーサルなど	チームでの練習(リハーサル)
13		講義・演習	全体通しリハーサルなど	授業を通しての復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	LAE
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	韓国でグループを組んで活動。現在ではソロアーティストとして活躍。						
授業の学習 内容	K-POPヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	K-POP音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの基礎と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		演習	リズム+グループを意識した歌唱□パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		演習	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4回の練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	LAE
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	韓国でグループを組んで活動。現在ではソロアーティストとして活躍。						
授業の学習 内容	Korean Music ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリス における応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	K-POP音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの基礎と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		演習	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		演習	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4回の練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BREAKIN 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎 浩太郎
学科・コース	ダンス & アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バックダンサー、振付、舞台、イベント出演など、DA TOKYO&ISMその他講師…約15年					
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ					
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		演習	基本的なステップムーブの習得・実践	各自授業内容を復習
3		演習	チェアー・スピンの習得・実践	各自授業内容を復習
4		演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		演習	フリーズの種類を習得・実践	各自授業内容を復習
9		演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステッピン)の実践	各自授業内容を復習
11		演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		試験	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BREAKIN 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎 浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バックダンサー、振付、舞台、イベント出演など、DA TOKYO&TSMその他講師…約15年					
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ					
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		演習	基本的なステップムーブの習得・実践	各自授業内容を復習
3		演習	チェアー・スピンの習得・実践	各自授業内容を復習
4		演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		演習	フリーズの種類を習得・実践	各自授業内容を復習
9		演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステッピン)の実践	各自授業内容を復習
11		演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		試験	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	POP 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野恭平
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・ヴォーカリスト歴7年						
授業の学習 内容	ダンサーにとって必要な身体作り、street dance 特にPOPPIN DANCEに必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	Poppinはstreet danceだけではなく jazzやコンテンポラリーにも多く取り入れられているので幅の広いダン ステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
		講義・演習	ヒットが実践できる	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ダイムストップが実践できる	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ハンドウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ボディウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
5		講義・演習	キングコブラが実践できる	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ティックングが実践できる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フローティングが実践できる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ブガルーリズムが実践できる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ブガールステップが実践できる	各自授業内容を復習
10		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
12		講義・演習	インプロが実践できる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りとインプロが実践で きる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	POP 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野恭平
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・ヴォーカリスト歴7年						
授業の学習 内容	ダンサーにとって必要な身体作り、street dance 特にPOPPIN DANCEに必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	Poppinはstreet danceだけではなく jazzやコンテンポラリーにも多く取り入れられているので幅の広いダン ステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ヒットが実践できる	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ダイムストップが実践できる	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ハンドウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ボディウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
5		講義・演習	キングコブラが実践できる	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ティッキングが実践できる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フローティングが実践できる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ブガルーリズムが実践できる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ブガルーステップが実践できる	各自授業内容を復習
10		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
12		講義・演習	インプロが実践できる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	バックダンサー、振付、舞台、イベント出演など、DA TOKYO&TSMその他講師…約15年						
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を正しく理解し、HIP HOPなどにも共通するリズムやアームス、ボディコントロールなどを使いこなせるようにする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・HOUSEのベーシックな動き（体の止め方）を習得すること ・HOUSE特有のスピード感、タメ、止めを体現すること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎①（ベーシックムーブ）	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE基礎②（ベーシックムーブ応用）	各自授業内容を復習
3		講義・演習	リズム&アイソレーション	各自授業内容を復習
4		講義・演習	リズム&ベーシックムーブ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	コンビネーション	各自授業内容を復習
6		講義・演習	”遊び”を混ぜる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フロアを混ぜる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	アクロバットを混ぜる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		YoutubeなどでHOUSEを観る。知る。触れる。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	バックダンサー、振付、舞台、イベント出演など、DA TOKYO&TSMその他講師…約15年						
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を使い、個性的に踊りこなせるように指導をする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・振付は勿論、フリーでもHOUSEを踊れるようにすること ・様々曲調に対応したHOUSEができるようになること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎の復習	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HOUSE応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HOUSE基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	シアターJAZZ 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺裕子
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	テーマパークダンサー、舞台・TV・海外公演等ダンサー出演						
授業の学習 内容	エクササイズ、クロスフロアを丁寧に行ってしっかり体をつくり、基礎力を身につける。 コンビネーションではパフォーマンスする意識を高め、表現の幅を広げる。						
到達目標	強くしなやかな体づくり、基礎力・テクニックのスキルアップ、幅広い表現力を身につける						
評価方法と基準	実技テスト、平常点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎的な要素のスキルアップ	エクササイズ等の復習
2		講義・演習	連続したテクニックを習得する	前回の注意点、振りの復習
3		講義・演習	テクニック強化、振りの中で活かす	前回の注意点、振りの復習
4		講義・演習	柔軟性、筋力、しなやかな体の使い方	前回の注意点、振りの復習
5		講義・演習	体幹、軸の重要性、ラインを意識した動き	前回の注意点、振りの復習
6		講義・演習	体全体を使ったダイナミックな動き	前回の注意点、振りの復習
7		講義・演習	繊細な表現、なめらかな動き	前回の注意点、振りの復習
8		講義・演習	リズム、流れ、緩急のある動き	前回の注意点、振りの復習
9		講義・演習	ロングコンビネーションでの表現①	前回の注意点、振りの復習
10		講義・演習	②空気感、音を感じて表現する	前回の注意点、振りの復習
11		講義・演習	③表情、+αの表現	前回の注意点、振りの復習
12		講義・演習	テスト(コンビネーション)	前回の注意点、振りの復習
13		講義・演習	総まとめ、新たな課題に取り組む	テストでの注意点、課題の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			欠席した授業回は、振りを聞くなどしてできるだけ覚えてくる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	シアターJAZZ 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	テーマパークダンサー・ダンス歴10年/15年						
授業の学習 内容	俳優でも踊りを要求される現場が増えている今、仕事をして行く上でのカテゴリーの一つとして踊りを踊れる事は重要である。芝居と同じで様々なシチュエーションでの表現を踊りで出来る様に、自分の身体と向き合い必要な集中力や基礎体力を養う。						
到達目標	表現・自己アピールをして行く上で、魅せ方や立ち姿など自分の身体をしっかりと観察出来る観察力、想像力、キャッチ力などを意識出来る様になる。 現在の自分より二周りほど広い視野を持ち、身を置ける様になる。 身体の柔軟性、基礎体力を習得できるようになる。 また、厳しい俳優の世界で続けることのできる精神力が身につく。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)①振りの正確な修得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)②振りの細かなニュアンス	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)③振りの表現について	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)④互いに見せ合う	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターンバランス。新しいコンビネーションに入る。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。アイソレーション。ターン。コンビネーション進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ウォーキング。ターン。コンビネーションを見せ合う。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。後期テスト課題に入る。テスト内容①ウォーキング②ターン③コンビネーション	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付コンビネーション① ターンを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付コンビネーション② ステップを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付コンビネーション③ 複数の技を組み合わせて踊ることを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	テストの実施 人前で魅せる表現を習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
13		講義・演習	前期のまとめ 2年に向けた課題を各自考え、シェアする	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習		振り入れられたダンスを自主練すること		
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、靴で参加。タオル・水分も必ず用意する 東京スクールオブミュージック専門学校/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	ミュージカルゼミ 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	荒井 香 織
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	桐朋学園芸術短期大学 卒業 劇団四季 8年在籍						
授業の学習 内容	ミュージカルにおける歌唱方法、発声方法の学習。 有名ミュージカルより抜粋した課題を通しての実践練習。						
到達目標	1年生においては基礎を築くことを基盤に置き、基本的な発声、科少量、演技力、ダンス力を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	授業へ取り組む姿勢、出席率、試験におけるの結果を総合的に判断。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	呼吸法、母音について説明	授業の復習を行うこと
2		講義	課題① 説明	授業の復習を行うこと
3		演習	課題① 実習	授業の復習を行うこと
4		演習	課題① 実習	授業の復習を行うこと
5		演習	課題① 実習	授業の復習を行うこと
6		講義	課題② 説明	授業の復習を行うこと
7		演習	課題② 実習	授業の復習を行うこと
8		演習	課題② 実習	授業の復習を行うこと
9		演習	課題② 実習	授業の復習を行うこと
10		演習	試験対策	授業の復習を行うこと
11		演習	試験対策	授業の復習を行うこと
12		演習	試験においてみえた課題を演習	授業の復習を行うこと
13		演習	課題③ 実習	授業の復習を行うこと
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
ミュージカル 『コーラスライン』 『WICKED』				
東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	ミュージカルゼミ 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	荒井 香 織
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	桐朋学園芸術短期大学 卒業 劇団四季 8年在籍						
授業の学習 内容	ミュージカルにおける歌唱方法、発声方法の学習。 有名ミュージカルより抜粋した課題を通しての実践練習。						
到達目標	1年生においては基礎を築くことを基盤に置き、基本的な発声、科少量、演技力、ダンス力を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	授業へ取り組む姿勢、出席率、試験におけるの結果を総合的に判断。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	呼吸法、母音について説明	授業の復習を行うこと
2		講義	課題① 説明	授業の復習を行うこと
3		演習	課題① 実習	授業の復習を行うこと
4		演習	課題① 実習	授業の復習を行うこと
5		演習	課題① 実習	授業の復習を行うこと
6		講義	課題② 説明	授業の復習を行うこと
7		演習	課題② 実習	授業の復習を行うこと
8		演習	課題② 実習	授業の復習を行うこと
9		演習	課題② 実習	授業の復習を行うこと
10		演習	試験対策	授業の復習を行うこと
11		演習	試験対策	授業の復習を行うこと
12		演習	試験においてみえた課題を演習	授業の復習を行うこと
13		演習	課題③ 実習	授業の復習を行うこと
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ A-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	久次亜希子
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2018年より東京DAで講師を務める。						
授業の学習 内容	①振付師のどのような要望にも応えるため、まずはジャズの基礎を徹底的に身につけ、振りを踊るときにその大切さを感じられるところまで持っていく。②バレエを基礎にしていることに気づいてほしい。③ただ振りを覚えて楽しく踊るのではなく、基礎を踏まえて誰が見ても安心して見ていられるダンサーになってもらいたい。④ウォーミングアップ、パーレッシン、クロスフロアを行った後に振りを覚えて踊ってみる。						
到達目標	前期では基礎的なクロスフロアを問題なくこなせることと、それらを振りのなかでも問題なくこなせること。						
評価方法と基準	出席日数60%、実技テスト40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	立ち方から説明。ウォームアップで大切なことも一通り説明する。	次週に向けての自主練習。
2		演習	筋トレを開始	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		演習	プリエを正しく理解する。	次週に向けての自主練習。
4		演習	パドブレを正しく行うことができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		演習	インパッセでのバランスを安定して行うことができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		演習	回転の首をキレイに切ることができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		演習	パドブレターンができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		演習	体重移動を正しく行うことができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		演習	ピケ、シェネ曲がらずに進める。早いシェネもできるようになる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		演習	片足のプリエが安定してくる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		演習	鏡がなくても踊ることができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		演習	ピルエットダブルができるようになる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		演習	テスト	復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		その日にできたこと、できなかったこと、わからなかったことを思い出すだけで次の授業が違います。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ A-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 久次亜希子
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴	2018年より東京DAで講師を務める。					
授業の学習 内容	①卒業後の現場で振付師やスタッフに信頼されるよう、振りをしっかり覚えるだけでなく魅力的に踊れ、他のダンサーからも信頼されるダンサーを目指していく。②ミュージカルだけでなく様々な現場で役に立つジャンルである。③それぞれの現場でダンスキャプテンなどを勤められるようになってもらいたい。④ウォーミングアップ、パーレッシン、クロスフロアを行った後に毎回の振りを自分のものとして踊ることができる。					
到達目標	シェネジュッテなど舞台上でも見栄えのする技術の取得。					
評価方法と基準	出席日数60%、実技テスト40%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ピレットダブルを美しく回れる。	次週に向けての自主練習。
2		演習	グランバットマンが上がりやすくなっている。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		演習	自分なりのウォーキングができる。	次週に向けての自主練習。
4		演習	体重移動が足音をさせないなどスムーズに行うことができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		演習	速いシェネ、ピケダブルを難なくこなすことができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		演習	ロンデジャンプができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		演習	ランベルセができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		演習	振りを1日目で自分のものに行うことができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		演習	ソデバスクができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		演習	シャッセトゥールができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		演習	鏡がなくても踊ることができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		演習	与えられた振りを正しく人に教えることができる。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		演習	テスト	復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		振りをもらって一回目と二回目はどう変化させようか、どう良くしようか考えてから授業に臨んでほしいです。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ B-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年						
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用						
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	プリエなどバレエの基礎	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	振り付けを覚える。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	振り付けを正確に踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	表情もつけて踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	何回踊っても間違えない。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	スローな動きで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	手足がしっかり伸びるようにする。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	感情をこめて踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	少人数に分けて大きく踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	アップテンポのダンス	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	グルーヴとアイソレーションを大切に。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 シューズ				

科目名	JAZZ B-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年						
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用						
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	セクシーに歩く練習	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	新しいコンビネーションのクロスフロ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	腰をしっかり動かせるように	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	可愛い歩き方	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	笑顔で歩く	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	アイドルらしい振り付け	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	表情を大切に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	フリーでのダンス強化	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	フロアでセクシーに。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 シューズ				

科目名	JAZZ C-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 久次亜希子 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャズダンス基礎の確認、徹底 ・ダンスを通して表現の実践 					
到達目標	<p>①正しい姿勢を理解し、実践できる。 ②基礎の大切さを理解している。 ③振りを覚え、曲の意味に沿って表現しながら踊ることが出来る。</p>					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの説明 ピルコット・コンビネーション	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ウォームアップの解説 ①姿勢・コンビネーション	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ウォームアップの解説 ②パラレルの重要性・コンビネーション	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ウォームアップの解説 ③ルルベ・コンビネーション	各自授業内容を復習
5		講義・演習	プリエの説明、実践	各自授業内容を復習
6		講義・演習	タンデュ・デガジェの説明	各自授業内容を復習
7		講義・演習	体重移動 タンデュ→タンデュ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	片足になる パッセ	各自授業内容を復習
9		講義・演習	体重移動 タンデュ→パッセ	各自授業内容を復習
10		講義・演習	ロンデジャンプ	各自授業内容を復習
11		講義・演習	ロンデジャンプ→ピケ	各自授業内容を復習
12		講義・演習	ピルエットダブルを安定させる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ C-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 久次亜希子 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする 					
到達目標	<p>①テクニックの向上</p> <p>②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。</p>					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に 振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
時々ゴムやボールを使用				

科目名	JAZZ D-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 久次亜希子 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	基本の姿勢から始まり、ダンスの基礎を学んでいく 振りを覚える					
到達目標	正しい姿勢の理解 基礎の大切さを伝える 振りを覚え、自分なりに踊ることができる					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップ1曲目→コンビネーション	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ウォームアップ2曲目→コンビネーション	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ロールアップ、ダウン、フラットバック	各自授業内容を復習
4		講義・演習	正しいプリエ パラレル ターンアウト	各自授業内容を復習
5		講義・演習	指先の正しい使い方 タンデュ デガシェ	各自授業内容を復習
6		講義・演習	パッセの説明→バランス	各自授業内容を復習
7		講義・演習	パッセのバランスからピルエット	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ロンデジャンプの説明	各自授業内容を復習
9		講義・演習	パッセとロンデジャンプからのピケターン	各自授業内容を復習
10		講義・演習	片足プリエ→体重移動	各自授業内容を復習
11		講義・演習	体重移動に気を付けながらクロスフロア	各自授業内容を復習
12		講義・演習	ピルエット、ピケシェネが躊躇なくできる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
時々ゴムやボールを使用				

科目名	JAZZ D-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 久次亜希子 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	基本の姿勢の振り返り、ダンスの基礎から応用を学んでいく 振りを覚える					
到達目標	正しい姿勢の理解 基礎の大切さを伝える 振りを覚え、自分なりに踊ることができる					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップ→コンビネーション	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ウォームアップ→コンビネーション	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ロールアップ、ダウン、フラットバック	各自授業内容を復習
4		講義・演習	プリエ パラレル ターンアウト	各自授業内容を復習
5		講義・演習	指先の正しい使い方 タンデュ デガシェ	各自授業内容を復習
6		講義・演習	パッセの→バランス	各自授業内容を復習
7		講義・演習	パッセのバランスからピルエット	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ロンデジャンプ	各自授業内容を復習
9		講義・演習	パッセとロンデジャンプからのピケターン	各自授業内容を復習
10		講義・演習	片足プリエ→体重移動	各自授業内容を復習
11		講義・演習	体重移動に気を付けながらクロスフロア	各自授業内容を復習
12		講義・演習	ピルエット、ピケシェネ	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
時々ゴムやボールを使用				

科目名	バレエA-3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	白石健二
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季、オリエンタルランド、東京バレエ団、ダンス講師、振付家						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で身体の隅々までコントロールできる身体作り、身体の仕組みを理解し、 そのための解剖学、分解学を学ぶ。 身体の癖や思い込みをなくし、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエを学ぶ。						
到達目標	身体のコアの未開拓の部分を整備して、中心から末端まで意識を届かせ、 コントロールできる身体を目指し、技術の向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	床を使ったトレーニングとバー(前半)	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2		講義・演習	床を使ったトレーニングとバー(後半)	基礎トレーニングの復習
3		講義・演習	床を使ったトレーニングとバーの復習	基礎トレーニングの復習
4		講義・演習	床を使ったトレーニングとバー、ターンの基礎	基礎トレーニングの復習
5		講義・演習	バー、センター基礎と順番	基礎トレーニングの復習
6		講義・演習	バー、センター(ターン、スモールジャンプ)	基礎トレーニングの復習
7		講義・演習	バー、センター(ターン、スモールジャンプ)応用	基礎トレーニングの復習
8		講義・演習	バー、センター、細かい繋ぎの基礎	基礎トレーニングの復習
9		講義・演習	バー、センター、大ジャンプの技の基礎	応用の予習復習
10		講義・演習	バー、センター、技の種類の取得	応用の予習復習
11		講義・演習	バー、センター、グランワルツまで	応用の予習復習
12		講義・演習	バー、センター、グランワルツまで	応用の予習復習
13		講義・演習	バー、センター、グランワルツまでのテスト	まとめ
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			youtubeなどの動画をみること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエA-4	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	白石健二
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季、オリエンタルランド、東京バレエ団、ダンス講師、振付家						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で身体の隅々までコントロールできる身体作り、身体の仕組みを理解し、そのための解剖学、分解学を学ぶ。 身体の癖や思い込みをなくし、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエを学ぶ。						
到達目標	自分の意志で、骨のアライメントを整え、動かし、正しい場所を知ること、その違いを体感すること。 それらをコントロールして踊り、表現できるところまで繋げること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	バー、センター復習	基礎トレーニングの復習
2		講義・演習	バー、センター復習	基礎トレーニングの復習
3		講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの復習	基礎トレーニングの復習
4		講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの復習	基礎トレーニングの復習
5		講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの応用	基礎トレーニングの復習
6		講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの応用	基礎トレーニングの復習
7		講義・演習	身体づくりの基礎を振り返る	基礎トレーニングの復習
8		講義・演習	身体づくりの基礎から難しい技へ繋げる考え方	基礎トレーニングの復習
9		講義・演習	身体づくりの基礎から難しい技へ繋げる考え方	応用の予習復習
10		講義・演習	バー、センター、グランワルツまで、体の仕組み分解学の理解	応用の予習復習
11		講義・演習	バー、センター、グランワルツまで、体の仕組み分解学の理解	応用の予習復習
12		講義・演習	身体の隅々までコントロールし表現できるところまで繋げる	応用の予習復習
13		講義・演習	バー、センター、グランワルツまでのテスト	まとめ
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			youtubeなどの動画をみること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエB-3		必修 選択	選択	年次	2	担当教員	下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科	昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	バレエ講師歴23年/23年/18年							
授業の学習内容	エクササイズ、コンビネーション、クールダウン 全て呼吸を使って身体を動かし踊るための身体を作る。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸と連動して動けるようになる。 ・筋力と柔軟性を上げる。 							
評価方法と基準	実技テストによる採点100%							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	呼吸を意識する			復習		
2		講義・演習	身体のアライメントを理解する			復習		
3		講義・演習	エクササイズ1つ1つ、 どこを使うかを考えて動かす。			復習		
4		講義・演習	筋感覚だけに集中(形に捉われない)			復習		
5		講義・演習	筋力と柔軟性を同時に意識する。			復習		
6		講義・演習	座位、ストレッチ(股関節周り意識)			復習		
7		講義・演習	体幹トレーニング (呼吸を伴う筋トレの中で)			復習		
8		講義・演習	アイソレーション (流されず部分部分を丁寧に)			復習		
9		講義・演習	ジャンプ足上げ (効果的に行えるようにする)			復習		
10		講義・演習	ターン(重心と軸を探る)			復習		
11		講義・演習	総括 (エクササイズも振りも全て呼吸)			復習		
12		講義・演習	試験 (見られている意識の中で発揮できる)			復習		
13		講義・演習	振り返り			復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ			レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ			レポートの提出		
準備学習		時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	バレエB-4		必修 選択	選択	年次	2	担当教員	下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	バレエ講師歴23年/23年/18年							
授業の学習内容	ストレッチ、バー、センター 常に呼吸を意識し、体重を感じるようにする。							
到達目標	バレエを通して、重心と軸を感じられるようになり、他のダンスにも応用できるようにする。							
評価方法と基準	実技テストによる採点100%							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	呼吸を意識しストレッチから			復習		
2		講義・演習	アライメントを理解し、立ち方を学ぶ。			復習		
3		講義・演習	プリエ（関節を固めない）			復習		
4		講義・演習	プリエタンデュ（体重を感じることで重心を知る）			復習		
5		講義・演習	体重移動を身につける。			復習		
6		講義・演習	正しいターンアウト			復習		
7		講義・演習	ストレッチ、バー、センターの流れを学ぶ			復習		
8		講義・演習	方向（8つの方向）を学ぶ。			復習		
9		講義・演習	ポールドブラ（基本のアームズ）			復習		
10		講義・演習	エポールマン			復習		
11		講義・演習	試験			復習		
12		講義・演習	身体を総括的に意識し動かせるように。			復習		
13		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。			復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ			レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ			レポートの提出		
準備学習		時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】								
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校								

科目名	バレエC-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	浅越葉菜
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	クラシックバレエ、コンテンポラリーダンス、ジャズダンスを学ぶ。関東大手テーマパーク、劇団四季等様々な舞台で活躍。現在は舞台に出演するかたわら、バレエ、ジャズ等の指導者、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習内容	①最大限に身体を使い、身体表現を行う為にバレエを学ぶ。 ②他のダンスにも繋がる身体を作る。 ③自分の身体を知り、自分との向き合い方を学んでほしい。 ④ストレッチ、バーレッスン、センターレッスンを通して、身体作り、精神の向上、テクニックの向上を目指す。						
到達目標	自分に向き合い、身体の気付きを持つ。 他ジャンルに繋がるバレエを身につける。						
評価方法と基準	出席率:60% テスト:40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	他ジャンルに繋がるバレエとは。	前期の目標設定、基礎の見直し
2		講義・演習	自分の骨格を知り、正しい立ち方、姿勢を見直す。	自分の体型、骨格を知り、長所短所を知る
3		講義・演習	バーレッスンを通して身体のラインを生む	自分に合ったストレッチ、トレーニングを知り、習慣的に実践する
4		講義・演習	床との関係、足裏、骨盤の確認	丹田、体幹トレーニング強化
5		講義・演習	上体との連動、音楽性の向上	様々なジャンルの音楽を聴く
6		講義・演習	テクニック強化(重心、体重移動)	パの確認、復習、練習
7		講義・演習	テクニック強化(ピルエット、ターン)	パの確認、復習、練習
8		講義・演習	テクニック強化(ジャンプ、ワルツ強化)	音楽の使い方の研究
9		講義・演習	音楽を身体で表現する	身体のライン、魅せ方の研究
10		講義・演習	前期まとめ(身体の変化への気付き)	客観的に自分を見つめる
11		講義・演習	前期まとめ2(身体のラインの見直し)	出来ること、出来ないことを明確にする
12		講義・演習	前期まとめ3(音楽性の向上、テクニック強化)	自分に合ったストレッチ、トレーニングの見直し
13		講義・演習	後期に向けての課題(テクニック応用)	前期の復習、後期への目標設定
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業前後のストレッチと筋力トレーニング。 授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残す事。	
【使用教科書・教材・参考書】				
レオタード、バレエシューズ				

科目名	バレエC-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	浅越葉菜
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	クラシックバレエ、コンテンポラリーダンス、ジャズダンスを学ぶ。関東大手テーマパーク、劇団四季等様々な舞台で活躍。現在は舞台に出演するかたわら、バレエ、ジャズ等の指導者、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習内容	①最大限に身体を使い、身体表現を行う為にバレエを学ぶ。 ②他のダンスにも繋がる身体を作る。 ③自分の身体を知り、自分との向き合い方を学んでほしい。 ④ストレッチ、パーレッスン、センターレッスンを通して、身体作り、精神の向上、テクニックの向上を目指す。						
到達目標	自分に向き合い、身体の気付きを持つ。 他ジャンルに繋がるバレエを身につける。						
評価方法と基準	出席率:60% テスト:40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習、姿勢立ち方の見直し	各自後期の目標設定
2		講義・演習	基礎の見直し、反復練習	自分に合ったストレッチ、トレーニングを習慣的に実践する
3		講義・演習	基礎の見直し、反復練習2	背骨、体幹を感じるトレーニング
4		講義・演習	テクニック強化(ターン、ジャンプ)	足裏、床を感じるトレーニング
5		講義・演習	身体のライン作り(上体、アームス)	上体の可動域の拡大、ストレッチの強化
6		講義・演習	身体のライン作り(足さばき、上体との連動)	強くしなやかな身体作り
7		講義・演習	音楽を表現する身体作り	様々なジャンルの音楽を聴く
8		講義・演習	音楽を表現する身体作り2	身体表現とは何か、自分なりに考える
9		講義・演習	センターレッスン応用(テクニック強化)	出来ること出来ないことを明確にする
10		講義・演習	センターレッスン応用2(テクニック強化)	長所短所を客観的に捉える
11		講義・演習	後期まとめ	バレエ用語の復習、確認
12		講義・演習	後期まとめ2	バレエ用語の復習、確認
13		講義・演習	一年間のまとめ(基礎から応用まで)	一年間の成果、反省をし、今後の目標を設定する
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業前後のストレッチと筋力トレーニング。 授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				
レオタード、バレエシューズ				

科目名	バレエ D-3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	吉村真司
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業形態	講義・演習	総時間 (単 位)	30 2単位		
教員の略歴	都内バレエスタジオにてバレエ講師を務める傍らダンサーとしても活動						
授業の学習 内容	クラシックバレエの基礎を身につける。舞台人としての姿勢を学ぶ。						
到達目標	クラシックバレエの基礎を理解し、柔軟性・音楽性・表現力を高める。楽しく踊れるようになる。						
評価方法及び基準	実技試験100%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	バレエの基礎の確認		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
2		演習	軸のアンデオールの意識を高める		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
3		演習	動いている足のアンデオールを高める		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
4		演習	軸を意識し、上体や顔の付け方を学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
5		演習	正しいアームスの使い方の必要性を学ぶ ビルエットを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
6		演習	ビルエットの質を高める アレグロのバを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
7		演習	ビルエット、アレグロをメインにした組み合わせを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
8		演習	アダージェオの動きの流れや、上半身の使い方を学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
9		演習	ターンの種類を知り、正しい回り方を学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
10		演習	グランワルツ、ターンをメインにした組み合わせを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
11		演習	総括(アンデオールの意識を高めて楽しく踊る)		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
12		演習	実技試験のアンシェナマンを提示し、練習する		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
13		演習	試験(2.3人ずつ踊り、身体の使い方、表現を見直す)		柔軟性を高めるためにストレッチ(スビリッツ)を毎日する		
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出		
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出		
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 なし							

科目名	バレエ D-4	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	吉村 真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	都内バレエスタジオにてバレエ講師を務める傍らダンサーとしても活動						
授業の学習 内容	クラシックバレエの基礎を身につける。舞台人としての姿勢を学ぶ。						
到達目標	クラシックバレエの基礎を理解し、柔軟性・音楽性・表現力を高める。楽しく踊れるようになる。						
評価方法と基準	実技試験100%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	前期で習得したバレエの基礎の確認		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
2		演習	バーでのフォンジュ、フラッペ、グランパットマンの軸のアンデオールの意識を高める		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
3		演習	アダージュの軸の意識を高め、上半身やアームス、顔の付け方を学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
4		演習	センターでのタンジュのアームス、上体の使い方を学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
5		演習	ビルエットの質を高める		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
6		演習	ビルエットがメインの組み合わせを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
7		演習	アレグロの種類を学び、早い動きに対応できるように学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
8		演習	アレグロがメインの組み合わせを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
9		演習	ターンの質を高める 軸の意識を高めてアンデオールで回る		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
10		演習	グランワルツ、ターンをメインにした組み合わせを学ぶ		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
11		演習	総括 (アンデオールの意識を高めて、楽しく踊る)		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
12		演習	実技試験のアンシェナマンを提示し、練習する		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
13		演習	試験 (2.3人ずつ踊り、身体の使い方、表現を見直す)		柔軟性を高めるためにストレッチ(スピリッツ)を毎日する		
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出		
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出		
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 なし							

科目名	HIPHOP A-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年						
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング						
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習
2		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習
3		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習
4		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習
5		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習
6		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習
7		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習
8		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習
9		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習
10		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習
11		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習
12		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出
13		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出
準備学習		時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	HIPHOP A-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年						
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング						
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
2		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
3		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
4		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
5		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
6		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付	復習
7		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付	復習
8		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付	復習
9		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付	復習
10		講義・演習	基礎・ステップ・振付	復習
11		講義・演習	基礎・ステップ・振付	復習
12		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
13		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習		時間外学習		
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	HIPHOP B-3		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習内容	<p>①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。</p> <p>②全てのストリートダンスに繋がる原点。</p> <p>③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。</p>						
到達目標	<p>①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする</p> <p>②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー</p> <p>③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。</p> <p>④言葉使いの徹底、挨拶</p>						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	今後のレッスンの説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
2		講義・演習	レッスン説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
3		講義・演習	基本リズム②、ステップ、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
4		講義・演習	基本リズム②、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
5		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
6		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
7		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
8		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
9		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
10		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
11		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
12		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
13		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出			
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	HIPHOP B-4		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。						
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようになる ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	今後のレッスンの説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
2		講義・演習	レッスン説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
3		講義・演習	基本リズム②、ステップ、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
4		講義・演習	基本リズム②、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
5		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
6		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
7		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
8		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
9		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
10		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
11		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
12		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
13		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出		
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出		
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	HIPHOP C-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養う。 ・ストレッチ→基礎→振付(基本的な授業の流れ。) 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎	/ 振付①	基礎トレーニング&振付の練習	
2		講義・演習	基礎	/ 振付①	基礎トレーニング&振付の練習	
3		講義・演習	基礎	/ 振付②	基礎トレーニング&振付の練習	
4		講義・演習	基礎	/ 振付②	基礎トレーニング&振付の練習	
5		講義・演習	基礎	/ 振付②	基礎トレーニング&振付の練習	
6		講義・演習	基礎	/ 振付③	基礎トレーニング&振付の練習	
7		講義・演習	基礎	/ 振付③	基礎トレーニング&振付の練習	
8		講義・演習	基礎	/ 振付③	基礎トレーニング&振付の練習	
9		講義・演習	基礎	/ 振付④	基礎トレーニング&振付の練習	
10		講義・演習	基礎	/ 振付④	基礎トレーニング&振付の練習	
11		講義・演習	基礎	/ 振付④	基礎トレーニング&振付の練習	
12		講義・演習	基礎	/ 振付⑤	基礎トレーニング&振付の練習	
13		講義・演習	基礎	/ 振付⑤	基礎トレーニング&振付の練習	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出	
準備学習		時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	HIPHOP C-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関根彩乃 田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養う。 ・ストレッチ→基礎→振付(基本的な授業の流れ。) 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎	/ 振付①	基礎トレーニング&振付の練習
2		講義・演習	基礎	/ 振付①	基礎トレーニング&振付の練習
3		講義・演習	基礎	/ 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
4		講義・演習	基礎	/ 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
5		講義・演習	基礎	/ 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
6		講義・演習	基礎	/ 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
7		講義・演習	基礎	/ 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
8		講義・演習	基礎	/ 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
9		講義・演習	基礎	/ 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
10		講義・演習	基礎	/ 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
11		講義・演習	基礎	/ 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
12		講義・演習	基礎	/ 振付⑤	基礎トレーニング&振付の練習
13		講義・演習	基礎	/ 振付⑤	基礎トレーニング&振付の練習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	HIPHOP D-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関根彩乃 田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	ダンス業界又はエンターテインメント業界で卒業後稼いで行くために必要なスキル、基礎知識だったバックダンサーはもちろん自分という存在が主体となり求められるダンサー、振付師になれる授業をする。						
到達目標	日本国内は勿論世界でも通用するような技術やパフォーマンス力を習得する。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーション、基礎体力を身に付ける	筋トレ、体幹、アイソレーション
2		講義・演習	音を正確に捉えて身体を使えるようになる	筋トレ、体幹、アイソレーション
3		講義・演習	音を正確に捉えて身体を使えるようになる	筋トレ、体幹、アイソレーション
4		講義・演習	振りを覚えるスピードを上げる	筋トレ、体幹、アイソレーション
5		講義・演習	振りを覚えそれをパフォーマンスする力をつける	筋トレ、体幹、アイソレーション
6		講義・演習	緩急などをつけそれをパフォーマンスできるようにする	筋トレ、体幹、アイソレーション
7		講義・演習	スキルチェック	筋トレ、体幹、アイソレーション
8		講義・演習	ソロでも萎縮しないパフォーマンス力の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション
9		講義・演習	ステージでのパフォーマンスの仕方の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション
10		講義・演習	振り付けの中での魅せ方の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション
11		講義・演習	振り付けの中での魅せ方の向上	筋トレ、体幹、アイソレーション
12		講義・演習	自分らしさの表現の追求	筋トレ、体幹、アイソレーション
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP D-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	ダンス業界又はエンターテインメント業界で卒業後稼いで行くために必要なスキル、基礎知識だったバックダンサーはもちろん自分という存在が主体となり求められるダンサー、振付師になれる授業をする。					
到達目標	日本国内は勿論世界でも通用するような技術やパフォーマンス力を習得する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	アイソレーション、基礎体力を身に付ける	筋トレ、体幹、アイソレーション		
2		講義・演習	音を正確に捉えて身体を使えるようになる	筋トレ、体幹、アイソレーション		
3		講義・演習	音を正確に捉えて身体を使えるようになる	筋トレ、体幹、アイソレーション		
4		講義・演習	振りを覚えるスピードを上げる	筋トレ、体幹、アイソレーション		
5		講義・演習	振りを覚えそれをパフォーマンスする力をつける	筋トレ、体幹、アイソレーション		
6		講義・演習	緩急などをつけそれをパフォーマンスできるようにする	筋トレ、体幹、アイソレーション		
7		講義・演習	スキルチェック	筋トレ、体幹、アイソレーション		
8		講義・演習	ソロでも萎縮しないパフォーマンス力の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション		
9		講義・演習	ステージでのパフォーマンスの仕方の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション		
10		講義・演習	振り付けの中での魅せ方の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション		
11		講義・演習	振り付けの中での魅せ方の向上	筋トレ、体幹、アイソレーション		
12		講義・演習	自分らしさの表現の追求	筋トレ、体幹、アイソレーション		
13		講義・演習	テスト		復習	
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出	
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出	
準備学習		時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	FREE STYLE A-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	田中英輔
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	アクション・スタントマンを経てテーマパークダンサー・アーティストのサポートダンサーなど						
授業の学習 内容	基本のリズム取りを45分間行い、その日のメインのステップを1～3つ程レクチャー。						
到達目標	音楽に乗れる身体、緩急やシルエットまで意識できるダンサーになる。						
評価方法と基準	授業態度、出席率、を元を実施試験でのダンス						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	UPのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
2		講義・発表	UPのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
3		講義・発表	DOWNのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
4		講義・発表	DOWNのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
5		講義・発表	FRONTのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
6		講義・発表	FRONTのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
7		講義・発表	BACKのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
8		講義・発表	BACKのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
9		講義・発表	ALL MIX 長めの振付け+@	各自授業内容を復習
10		講義・発表	ALL MIX 長めの振付け+@	各自授業内容を復習
11		講義・発表	ALL MIX 長めの振付け+@	各自授業内容を復習
12		講義・発表	8×2FREE DANCE 振り フォーメーション	各自授業内容を復習
13		講義・発表	総まとめ	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			習ったSTEPを反復練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	FREE STYLE A-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	田中英輔
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	アクション・スタントマンを経てテーマパークダンサー・アーティストのサポートダンサーなど						
授業の学習 内容	基本のリズム取りを45分間行い、その日のメインのステップを1～3つ程レクチャー。						
到達目標	音楽に乗れる身体、緩急やシルエットまで意識できるダンサーになる。						
評価方法と基準	授業態度、出席率、を元を実施試験でのダンス						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	UPのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
2		講義・発表	UPのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
3		講義・発表	DOWNのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
4		講義・発表	DOWNのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
5		講義・発表	FRONTのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
6		講義・発表	FRONTのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
7		講義・発表	BACKのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
8		講義・発表	BACKのリズム STEP3種 振付け	各自授業内容を復習
9		講義・発表	ALL MIX 長めの振付け+@	各自授業内容を復習
10		講義・発表	ALL MIX 長めの振付け+@	各自授業内容を復習
11		講義・発表	ALL MIX 長めの振付け+@	各自授業内容を復習
12		講義・発表	8×2FREE DANCE 振り+フォーメーション	各自授業内容を復習
13		講義・発表	総まとめ	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			習ったSTEPを反復練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Free Style B-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	IORI SOMA
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単 位)		
教員の略歴	アメリカ・ロサンゼルスでダンサーとして活動、日本ではWS、MV等出演						
授業の学習 内容	①日本にいても海外のスタイルを学べるため ②他のダンスにも応用できる技術を身に付ける ③世界でも活躍できるダンサー ④ストレッチ、アイソレーション、振り付けを通し、身体作りスキルの向上						
到達目標	基礎を学び、個々のダンススタイルを確立する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	身体作り	筋力トレーニング
2		講義・演習	ストレッチ	自分の体の特徴を知る
3		講義・演習	アイソレーション	アイソレーションの復習
4		講義・演習	ストレッチ、アイソレーションの応用	応用の復習
5		講義・演習	コンビネーション	コンビネーション復習
6		講義・演習	カウントの取り方	授業内容の復習
7		講義・演習	音の取り方、感じ方	曲を聞いて音とカウントを意識する
8		講義・演習	身体の使い方	アイソレーションを意識する
9		講義・演習	音を取り入れた身体の使い方	音によって異なる身体の使い方を知る
10		講義・演習	重心、シルエットの運び方	自分の体と向き合い自分の癖を考える
11		講義・演習	振り付けと音の結びつき	洋楽の音・歌詞の意味を考える
12		講義・演習	力の強弱と振り付けの緩急	自分の個性に合わせた魅せ方を知る
13		講義・演習	テスト	これまでの授業の復習・今後の課題を見据える
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			筋肉トレーニングを基盤とした授業内容の反復練習。また授業で扱った楽曲が洋楽である場合、英語の意味を自分で調べ日頃からの英語学習を心得る。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Free Style B-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	IORI SOMA
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単 位)		
教員の略歴	アメリカ・ロサンゼルスでダンサーとして活動、日本ではWS、MV等出演						
授業の学習 内容	①日本にいても海外のスタイルを学べるため ②他のダンスにも応用できる技術を身に付ける ③世界でも活躍できるダンサー ④ストレッチ、アイソレーション、振り付けを通し、身体作りスキルの向上						
到達目標	基礎を学び、個々のダンススタイルを確立する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	身体作り	筋力トレーニング
2		講義・演習	ストレッチ	自分の体の特徴を知る
3		講義・演習	アイソレーション	アイソレーションの復習
4		講義・演習	ストレッチ、アイソレーションの応用	応用の復習
5		講義・演習	コンビネーション	コンビネーション復習
6		講義・演習	カウントの取り方	授業内容の復習
7		講義・演習	音の取り方、感じ方	曲を聞いて音とカウントを意識する
8		講義・演習	身体の使い方	アイソレーションを意識する
9		講義・演習	音を取り入れた身体の使い方	音によって異なる身体の使い方を知る
10		講義・演習	重心、シルエットの運び方	自分の体と向き合い自分の癖を考える
11		講義・演習	振り付けと音の結びつき	洋楽の音・歌詞の意味を考える
12		講義・演習	力の強弱と振り付けの緩急	自分の個性に合わせた魅せ方を知る
13		講義・演習	テスト	これまでの授業の復習・今後の課題を見据える
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			筋肉トレーニングを基盤とした授業内容の反復練習。また授業で扱った楽曲が洋楽である場合、英語の意味を自分で調べ日頃からの英語学習を心得る。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンテンポラリー3	必修 選択	選択	年次	2年	担当教員	能美健志
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー						
授業の学習 内容	①正しい身体のアライメント、思考の使い方の向上。②理にかなっている動き（骨と筋肉の正しい連動）の習得。③論理的な考え方のもと、身体を動かす事でテーマパーク、ジャズダンス等に応用可能な身体を目指す。更にコンテンポラリーダンスの動きの質を高め、アカデミックでダイナミックな動き学ぶ。④振付構成法の講義を行う。						
到達目標	踊りがスムーズに動ける様になり、尚且つダイナミズムなダンスを目指し、論理的な思考を身につける事で動きの応用ができる事を習得する。振付構成法の講義を受講する事で論理的に振付を考え、他のダンスの振付にも対応できる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点。または、平常点にて採点。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	①成長する為の心構え、身体の骨とインナーマッスルの確認と応用。	1年次のレッスン内容の確認。
2		講義・演習	②腹筋群、内転筋群、つま先、MP関節等の理解。コンビネーションの理解。	①の授業復習（確認、理解）ストレッチする。
3		講義・演習	③フロアー・センターエクササイズレベルアップと新ステップの理解。	②の授業復習（確認、理解）ストレッチする。
4		講義・演習	④新ステップとコンビネーションの反復。 ②～③の反復。	③の授業復習（確認、理解）ストレッチする。
5		講義・演習	⑤新ステップとコンビネーションの反復。 ②～④の反復。	④の授業復習（確認、理解）ストレッチする。
6		講義・演習	⑥新ステップとコンビネーションの反復。 ②～⑤の反復。	⑤の授業復習（確認、理解）ストレッチする。
7		講義・演習	⑦新ステップの反復。新コンビネーションの応用。②～⑥の反復。	⑥の授業復習（確認、理解）ストレッチする。
8		講義・演習	⑧新ステップの反復。新コンビネーションの応用①。②～⑦の反復。	⑦の授業復習（確認、理解）ストレッチする。
9		講義・演習	⑨新ステップの反復。新コンビネーションの応用②。②～⑧の反復。	⑧の授業復習（確認、理解）ストレッチする。
10		講義・演習	⑩新ステップの反復。新コンビネーションの応用③。②～⑨の反復。	⑨の授業復習（確認、理解）ストレッチする。
11		講義・演習	振付構成法の講義（構成法の基本①時間軸変化とスペースの意味）	筆記用具持参。復習、理解。
12		講義・演習	振付構成法の講義（構成法の基本②動画から構成を読み取り）	筆記用具持参。復習、理解。
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容を理解力、確認して自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等反復をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着は身体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	コンテンポラリー4	必修 選択	選択	年次	2年	担当教員	能美健志
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー						
授業の学習 内容	①正しい身体のアライメント、思考の使い方の向上。②理にかなっている動き（骨と筋肉の正しい連動）の習得。③論理的な考えのもと、身体を動かす事でテーマパーク、ジャズダンス等に应用可能な身体を目指す。更にコンテンポラリーダンスの動きの質を高め、アカデミックでダイナミックな動き学ぶ。 ④メンタル講義を行う。						
到達目標	踊りがスムーズに動ける様になり、尚且つダイナミズムなダンスを目指し、論理的な思考を身につける事で動きの応用ができる事を習得する。メンタル講義を行う事でモチベーションの向上、精神面の安定を図る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点。または、平常点にて採点。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期のレッスンの内容確認(各骨と筋肉部位、エクササイズ等)	前期レッスン内容の確認と反省。
2		講義・演習	①エクササイズのレベルアップの習得。新々ステップ・コンビネーションの理解。	エクササイズ等の理解。ストレッチする。
3		講義・演習	②新々ステップ・コンビネーションの理解。 ①の反復。	①の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
4		講義・演習	③新々ステップ・コンビネーションの反復。 ①～②の反復。	②の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
5		講義・演習	④新々ステップ・コンビネーションの反復。 ①～③の反復。	③の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
6		講義・演習	⑤新々ステップ・コンビネーションの反復。 ①～④の反復。	④の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
7		講義・演習	⑥新々ステップ・コンビネーションの応用。 ①～⑤の反復。	⑤の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
8		講義・演習	⑦新々ステップ・コンビネーションの応用。 ジャンプコンビ①～⑥の反復。	⑥の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
9		講義・演習	⑧新々ステップ・コンビネーションの応用。 ジャンプコンビ①～⑦の反復。	⑦の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
10		講義・演習	⑨新々ステップ・コンビネーションの応用。 ジャンプコンビ①～⑧の反復。	⑧の授業復習(確認、理解)ストレッチする。
11		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策。
12		講義・演習	メンタル講義(過去、現在、未来の考え方。今に生きる本当の意味)	筆記用具持参。復習、理解。
13		講義・演習	メンタル講義(人間関係の考え方。成長の本当の意味)	筆記用具持参。復習、理解。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業内容を理解力、確認して自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等反復をする。		
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着は身体ラインが見える物。裸足or靴下。				

科目名	テーマパークA-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1) オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2) 表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介でのアピール方法	自分の目標を確認する
2		講義・演習	ストレッチの仕方、筋肉のトレーニング方法	ストレッチ・筋トレ
3		講義・演習	基本のテクニック(ターンの方法1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
4		講義・演習	基本のテクニック(ターンの方法2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
5		講義・演習	基本のテクニック(シェネ・ピケターン1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
6		講義・演習	基本のテクニック(シェネ・ピケターン2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
7		講義・演習	基本のテクニック(ロンデジャンプ)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
8		講義・演習	基本のテクニック(アチチュードターン)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
9		講義・演習	基本のテクニック(バットマン)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	習得したテクニックをクロスフロアで行う	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×2程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	8×4程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	テーマパークA-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1) オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2) 表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ターン3(ペアテ)の方法	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
2		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	前週のコンビネーションを踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	3人ほどの小グループに分けて踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	間違えずに自分の踊りにして踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	3人ほどの小グループで自己アピールしながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	自己アピールしながら間違えずに踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	試験(ピルエット・バットマン・コンビネーション)	試験での反省を踏まえて目標を確認する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパーク B-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤田沙知
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	小学2年生からクラシックバレエを始め、尚美ミュージックカレッジ専門学校ミュージカル学科にてジャズダンス、モダン、シアターダンスなどを学ぶ。卒業後、サンリオピューロランドにて5年間ダンサー・MCとして活動し、現在はミュージカル、ショーなどの舞台に出演している。パレトンのソールシンセシスインストラクター資格所有。						
授業の学習 内容	基礎力をあげて自分の個性を生かした魅せ方で表現できるようになることを目指します。テーマパークのオーディションを受けるに当たって、第一印象で基礎が出来ていること、対応力が有るかどうかが重要となってきます。ダンスの基礎固め・身体作り、MC力を付けるための発声・実践、そして自己アピール力を強化するレッスンを行っていきます。						
到達目標	①安定感のあるダンスを目指し、必要な筋力をつける ②観客へ届く発声を身につける ③自分の個性を見つける ④個性をアピール出来る魅せ方を見つける ⑤様々な場面に対応出来る力を身につける口						
評価方法と基準	1)学習意欲50% 2)定期テストによる上達度50% [達成の目安] レッスンに意志を持って参加すること。貪欲に技術力・表現力の向上を目指し、確実な基礎力を持った上で大勢の人がいる中でも自分の個性をアピール出来るようになること。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	大きな動きに負けない体幹作り	基礎トレーニング法を学び反復練習
2		講義・演習	自分に合った発声を見つける	発声練習、ペア学習
3		講義・演習	MC台詞をよむ	台本を実際に読み込む
4		講義・演習	アームスの強化	基礎トレーニング
5		講義・演習	手先・足先・膝の強化	基礎トレーニング
6		講義・演習	新しい振付を覚える	ポイントを抑えて振付をすばやく覚える
7		講義・演習	曲中でのMC台詞の練習	決められた尺でセリフを話す練習
8		講義・演習	MCからダンスへつなげる	ダンスへ繋がるMC表現を学ぶ
9		講義・演習	ステップの流れを大切に踊る	スムーズな体重移動、プリエを意識する
10		講義・演習	回転の強化①	ピルエットの練習
11		講義・演習	回転の強化②	ピケターン、シェネの練習
12		講義・演習	ダンスとMCパフォーマンスを作る	振付、MCセリフを覚える
13		講義・演習	ダンスとMCパフォーマンス発表	パフォーマンスとして完成させる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパーク B-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤田沙知
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	小学2年生からクラシックバレエを始め、尚美ミュージックカレッジ専門学校ミュージカル学科にてジャズダンス、モダン、シアターダンスなどを学ぶ。卒業後、サンリオピューロランドにて5年間ダンサー・MCとして活動し、現在はミュージカル、ショーなどの舞台に出演している。パレトン®ソールシンセシスインストラクター資格所有。						
授業の学習内容	基礎力をあげて自分の個性を生かした魅せ方で表現できるようになることを目指します。テーマパークのオーディションを受けるに当たって、第一印象で基礎が出来ていること、対応力が有るかどうかが重要となってきます。ダンスの基礎固め・身体作り、MC力を付けるための発声・実践、そして自己アピール力を強化するレッスンを行っていきます。						
到達目標	①安定感のあるダンスを目指し、必要な筋力をつける ②観客へ届く発声を身につける ③自分の個性を見つける ④個性をアピール出来る魅せ方を見つける ⑤様々な場面に対応出来る力を身につける□						
評価方法と基準	1)学習意欲50% 2)定期テストによる上達度50% [達成の目安] レッスンに意志を持って参加すること。貪欲に技術力・表現力の向上を目指し、確実な基礎力を持った上で大勢の人がいる中でも自分の個性をアピール出来るようになること。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ジャンプの技の練習①	反復練習
2		講義・演習	ジャンプの技の練習②	反復練習
3		講義・演習	MC台詞をよむ	台本を実際に読み込む
4		講義・演習	MC台詞を自分なりに作る	アレンジをする
5		講義・演習	新しい振付を覚える	ポイントを抑えて振りを覚える
6		講義・演習	個々の苦手な部分を見つける	自分の苦手な部分と向き合う
7		講義・演習	ブラッシュアップし整える	改善のための方法を見つけ実践する
8		講義・演習	振り説の練習	伝わりやすい振り説を学ぶ
9		講義・演習	ダンスから台詞へつなげる①	呼吸が上がった状態で喋るための練習
10		講義・演習	ダンスから台詞へつなげる②	反復練習
11		講義・演習	キャラクターを演じて踊る	表現を学ぶ
12		講義・演習	役柄を演じながらMCをする	声色の研究をする
13		講義・演習	ダンスとMCパフォーマンスを作る①	パフォーマンス作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ヴォイストレーニング A-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 細井康行
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単 位)	
教員の略歴	東京音楽大学研究科オペラコース卒 滋慶学園勤務18年 ヴォイストレーナー歴30年					
授業の学習 内容	1. 歌う為に必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2. ダンスと歌唱は身体表現が密接に関係しており双方にメリットがある 3. この授業を通して歌っておどってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて行って欲しい 4. オリジナルの基本姿勢と呼吸法と発声法を細かく1人1人のコンディションに合わせて展開して行く 5. オーディションやステージ上でも揺るがないメンタルを構築する					
到達目標	1. オリジナルの体幹理論により姿勢、呼吸、発声法を矯正し、よりクオリティの高いパフォーマンスが可能となる 2. Dance&singに必要な呼吸法と発声法を学ぶ事により更にハイスペックな歌唱力が手に入れる事ができる 3. 最終的にDance&singでブレない発声法とつかれない身体とキレのあるDanceパフォーマンスが可能になる 4. メンタルを鍛える事によりブレないパフォーマンスが期待できる 5. 学生それぞれに適したマイキングを学び、よりクオリティの高い歌唱へと導く 6. Dance&Singでしか習得できないパフォーマンスの精度を上げる					
評価方法と基準	1. 授業の出席率と日々の授業態度 50% 2. 歌唱&パフォーマンステスト30% 3. 礼儀 *機材セッティング等の協力体制20%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ヴォイストレーニング及びオリジナル体幹理論による呼吸法・姿勢	講師サイドでオリジナル教材準備、配布
2		講義・演習	現時点での音域チェック及び曲選定	音域チェックシート及び音源準備
3		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート準備
4		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング (Dance無し)	iPad撮影
6		講義・演習	マイキング (Danceあり)	iPad撮影
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入&iPad撮影
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入&iPad撮影
9		講義・演習	表情筋と歌唱を繋げる	ミラーチェック
10		講義・演習	表情筋と歌唱とダンスの融合	ミラーチェック及びipad撮影
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	ミラーチェック及びipad撮影
12		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入&iPad撮影
13		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入&iPad撮影
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		歌唱する曲の音源と手書きの歌詞カード及び音源準備		
【使用教科書・教材・参考書】				
Visible body/ オリジナルトライ体幹理論/人体模型				

科目名	ヴォイストレーニング A-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	細井康行
学科・コース	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単 位)		
教員の略歴	東京音楽大学研究科オペラコース卒 滋慶学園勤務18年 ヴォイストレーナー歴30年						
授業の学習 内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌う為に必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2. ダンスと歌唱は身体表現が密接に関係しており双方にメリットがある 3. この授業を通して歌っておどってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて行って欲しい 4. オリジナルの基本姿勢と呼吸法と発声法を細かく1人1人のコンディションに合わせて展開して行く 5. オーディションやステージ上でも揺るがないメンタルを構築する 						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリジナルの体幹理論により姿勢、呼吸、発声法を矯正し、よりクオリティの高いパフォーマンスが可能となる 2. Dance&singに必要な呼吸法と発声法を学ぶ事により更にハイスペックな歌唱力が手に入れる事ができる 3. 最終的にDance&singでブレない発声法とつかれない身体とキレのあるDanceパフォーマンスが可能になる 4. メンタルを鍛える事によりブレないパフォーマンスが期待できる 5. 学生それぞれに適したマイキングを学び、よりクオリティの高い歌唱へと導く 6. Dance&Singでしか習得できないパフォーマンスの精度を上げる 						
評価方法と基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の出席率と日々の授業態度 50% 2. 歌唱&パフォーマンステスト30% 3. 礼儀 * 機材セッティング等の協力体制20% 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ヴォイストレーニング及びオリジナル体幹理論による呼吸法・姿勢	講師サイドでオリジナル教材準備、配布
2		講義・演習	現時点での音域チェック及び曲選定	音域チェックシート及び音源準備
3		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート準備
4		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング (Dance無し)	iPad撮影
6		講義・演習	マイキング (Danceあり)	iPad撮影
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入&iPad撮影
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入&iPad撮影
9		講義・演習	表情筋と歌唱を繋げる	ミラーチェック
10		講義・演習	表情筋と歌唱とダンスの融合	ミラーチェック及びipad撮影
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	ミラーチェック及びipad撮影
12		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入&iPad撮影
13		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入&iPad撮影
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		歌唱する曲の音源と手書きの歌詞カード及び音源準備		
【使用教科書・教材・参考書】				
Visible body/ オリジナルトライ体幹理論/人体模型				

科目名	ヴォイストレーニング B-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1. 歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2. ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3. この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4. オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1. オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2. Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3. 最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニング B-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1. 歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ 2. ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3. この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4. オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1. オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2. Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3. 最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニング C-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1. 歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2. ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3. この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4. オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1. オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2. Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3. 最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニング C-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1. 歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2. ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3. この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4. オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1. オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2. Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3. 最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	Heels 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根アヤノ
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位	
教員の略歴	付師/演出家 LiSA 専属振付師2014~ プレイヤー/ 安室奈美恵、木村拓哉、SMAP、ケツメイシ、JUJUなどその他etc、					
授業の学習 内容	<p style="text-align: center;">■ 三大ダンス教育目標</p> <p style="text-align: center;">(1) 基礎ダンス力の向上</p> <p style="text-align: center;">(2) 自分の魅せ方&表現方法についての自身研究</p> <p style="text-align: center;">(3) 現場対応能力&コミュニケーション能力の向上</p>					
到達目標	<p style="text-align: center;">・ 去年との自分と比較してどのくらい変化があったのか実感できたか</p> <p style="text-align: center;">・ 普通の授業でもしっかりとした受け答え、コミュニケーションを取れるようになる。(現場に生かす)</p> <p style="text-align: center;">・ 現場では女子振りやJAZZはマストになるので唯一無二の存在感やオーラ、魅せ方を取得</p>					
評価方法と基準	<p style="text-align: center;">・ 定期テスト60% ・ 出席数20% ・ 授業に向き合う姿勢 20%</p>					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義、演習	基礎トレーニング / 振付指導	まずは各々身体能力チェック
2		講義、演習	体幹トレーニング / 振付指導	自身の体の弱い部分を体幹で補う
3		講義、演習	自身の可動範囲チェック/ 振付指導	現時点で自分に何が足りないのか？自分自身のキャパシティを認識する
4		講義、演習	振付けメイン	振付反復練習(最近観ているのが、1人で練習&確認する事が苦手な
5		講義、演習	少人数に分けて踊る	(1) 1人でも負けないメンタルを鍛える
6		講義、演習	魅せ方研究 / 振付指導	ゆっくりと時間を掛けて向き合う
7		講義、演習	細かく時間を掛けて振付指導(魅せ方メイン)	反復練習&とにかく自分の一番良い表現方法を探す
8		講義、演習	振付の中にFreestyleも入れて課題を提示	対応能力向上の為
9		講義、演習	少人数に分けて踊る(出来る子はソロ)	(2) 撮影も兼ね、時間を掛けた結果自分がどこまで出来たのか試す
10		講義、演習	対応能力を鍛えるため、振り渡しを長く早く入れる	脳内トレーニング
11		講義、演習	更に脳内容量を増やす為に、2週目も振付けを沢山渡す	現場対応能力を向上させる為のトレーニング
12		講義、演習	長い楽曲+構成を各自付けていくトレーニング	構成能力&コミュニケーション能力向上。 人に与えられたモノをこなすのではなく自分たちで生み出す能力を鍛える
13		講義、演習	少人数に分けて踊る(出来る子はソロ)	(3) 対応能力向上の為に、長く&早く入れられた振付けをどこまでついてこれるのか試す
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Heels 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関根アヤノ
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	振付師/演出家 LiSA 専属振付師2014～ プレイヤー/ 安室奈美恵、木村拓哉、SMAP、ケツメイシ、JUJUなどその他etc..						
授業の学習 内容	<p>■ 三大ダンス教育目標</p> <p>(1) 基礎ダンス力の向上</p> <p>(2) 自分の魅せ方&表現方法についての自身研究</p> <p>(3) 現場対応能力&コミュニケーション能力の向上</p>						
到達目標	<p>・ 去年との自分と比較してどのくらい変化があったのか実感できたか</p> <p>・ 普段の授業でもしっかりとした受け答え、コミュニケーションを取れるようになる。(現場に生かす)</p> <p>・ 現場では女子振りやJAZZはマストになるので唯一無二の存在感やオーラ、魅せ方を取得</p>						
評価方法と基準	<p>・ 定期テスト60% ・ 出席数20% ・ 授業に向き合う姿勢 20%</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義、演習	基礎トレーニング / 振付指導	まずは各々身体能力チェック
2		講義、演習	体幹トレーニング / 振付指導	自身の体の弱い部分を体幹で補う
3		講義、演習	自身の可動範囲チェック / 振付指導	現時点で自分に何が足りないのか？自分自身のキャパシティを認識する
4		講義、演習	振付けメイン	振付反復練習(最近観ている多いのが、1人で練習&確認する事が苦手な子をも見かけるので、練習の仕方&集中力の維持な仕方を学ぶ)
5		講義、演習	少人数に分けて踊る	・ (1) 1人でも負けないメンタルを鍛える
6		講義、演習	魅せ方研究 / 振付指導	ゆっくりと時間を掛けて向き合う
7		講義、演習	細かく時間を掛けて振付指導(魅せ方メイン)	反復練習&とにかく自分の一番良い表現方法を探す
8		講義、演習	振付の中にFreestyleも入れて課題を提示	対応能力向上の為
9		講義、演習	少人数に分けて踊る(出来る子はソロ)	(2) 撮影も兼ね、時間を掛けた結果自分がどこまで出来たのか試す
10		講義、演習	対応能力を鍛えるため、振り渡しを長く早く入れる	脳内トレーニング
11		講義、演習	更に脳容量を増やす為に、2週目も振付けを沢山渡す	現場対応能力を向上させる為のトレーニング
12		講義、演習	長い楽曲+構成を各自付けていくトレーニング	構成能力&コミュニケーション能力向上。人に与えられたモノをこなすのでは無く自分たちで生み出す能力を鍛える
13		講義、演習	少人数に分けて踊る(出来る子はソロ0)	(3) 対応能力向上の為に、長く&早く入れられた振付けをどこまでついてこれるのか試す
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宮川 京子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	K-POPインストラクター歴 12年						
授業の学習 内容	K-POPに関する幅広い知識とスキルを習得する。						
到達目標	K-POPに関する幅広い知識とスキルを習得し、将来のK-POP業界での活躍に向けた基盤を築くことを目指す						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義、演習	K-POPの概要と歴史の紹介	事前に配布した資料を予習
2		講義、演習	K-POPの主要なアーティストの紹介	自身の気になっているアーティストを事前に調べ発表できるようにする
3		講義、演習	K-POPのダンススタイルと基本的なダンスムーブの学習	リズムやダンスムーブを実践確認動画でチェックする。
4		講義、演習	K-POPの歌唱テクニックとパフォーマンスの練習	グループを意識した歌唱 パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		講義、演習	K-POPの音楽ビデオの分析と制作の基礎	K-POPパフォーマンスを動画でチェックする。
6		講義、演習	K-POPの音楽ビデオの分析と制作の応用	K-POPパフォーマンスの緩急の表現方法を確認動画でチェックする。
7		講義、演習	K-POPの音楽ビデオの分析と制作の実践	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックし実践する
8		講義、演習	K-POPの音楽ビデオの分析と制作の実践	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックし実践する
9		講義、演習	K-POPのビジネスモデルとマネジメントの理解	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		講義、演習	K-POPの国際的な展開とグローバルマーケットの分析	K-POPの国際的な展開を事前動画でチェックする
11		講義、演習	K-POPのファッションとスタイリングの探求	実際にファッションとスタイリングについて動画でチェックする
12		講義、演習	K-POPの新たなトレンドや動向の調査とディスカッション	新たなトレンドについて事前に動画を確認しチェックする。
13		講義、演習	K-POPの未来展望と個人プロジェクトの提案	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	K-POP4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宮川 京子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	K-POPにおける最新のトレンドやアーティストに精通し、K-POPの進化について理解する。						
到達目標	K-POPの総合的な理解と実践的なスキルを発展させることを目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義、演習	K-POPのトレンドと新しいアーティスト紹介	事前に配布した資料を予習
2		講義、演習	K-POPダンスカバーレッスン	自身の選んだアーティストのフリを予習してくる
3		講義、演習	ミュージックビデオ制作プロジェクトの実践	ミュージックビデオ制作にあたり担当をそれぞれ確定させる
4		講義、演習	ミュージックビデオ制作プロジェクトの実践	事前に必要機材を申請・撮影を実践してく。その後編集までをしてくる
5		講義、演習	ミュージックビデオ制作プロジェクトの実践	他グループの動画を確認しレポートを書く
6		講義、演習	グループディスカッション - K-POPの社会的影響	自身の選んだアーティストの背景や歴史を研究してくる
7		講義、演習	ボーカルトレーニングとライブパフォーマンス	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
8		講義、演習	ボーカルトレーニングとライブパフォーマンス	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
9		講義、演習	ボーカルトレーニングとライブパフォーマンス	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
10		講義、演習	ファンマーケティング戦略とイベント企画	K-POP戦略を事前動画でチェックする。
11		講義、演習	K-POPのグローバル展開と異文化コラボレーション	K-POPのグローバルな展開を事前動画でチェックする。
12		講義、演習	ライブイベントの企画と運営	実際に企画内容を考えてくる
13		講義、演習	ライブイベントの企画とライブパフォーマンス実践	他のパフォーマンスを鑑賞して企画目線でレポート作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	クリエイション 3 (ダンス)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	日置望喜
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ダンスインストラクター・コレオグラファー・ダンサー・ダンスディレクター・ダンスコーディネーター						
授業の学習 内容	<p>①ダンス関係の職業に着くためには、モラル、団結力、振り付け能力、先見性、習慣性、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、DANCEのスキルアップ、ステージ経験、リーダーシップ、時間管理能力、積極性……と、多くの能力が必要となるため。</p> <p>②ダンスのオールジャンル……パレエ・JAZZ・コンテンポラリー・HIPHOP・JAZZHIPHOP・ガールズHIPHOP・KPOP・R&B・インストラクターなど……</p> <p>全てのジャンルが作品作りに役立つ為、全ての科目に関係します。</p> <p>③このCreationに参加し、ダンス関係の仕事が出来る人材になれるよう、多くの事を学んで欲しい。</p>						
到達目標	上記の必要条件を求められる中、自由でありながらキチンと縛りのある環境の中で、自分達の求める人と求める曲で求める作品を作っていく。時には縛りのある作品を求められることも…… 自己満足で終わらない、観客の求めるニーズのある作品とは何かを、少しずつ苦しみながら楽しみながらわかっていく、とてもクリエイティブな時間である。その題材を通してディレクションを受けながら、人との関わり方や、ステージでの見せかたを学んでいく。						
評価方法と基準	<p>イベント本番作品チェックでの採点……45%</p> <p>出席率……50%</p> <p>その他(役割・振り付けなど積極性)……5%</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Creationでのルール、業界でのモラル、決まり、心得などについての講義。リーダー決定の話し合い。	持ち物……Creationノートを作成し、持参し、メモを取る習慣を必ず身につける。
2		講義・演習	学園祭のコンセプト、求められる作品について指導。チーム・作品のテーマ・曲を決める。	前回の復習
3		講義・演習	自主練・アイデアの出し合い・選曲や編集の確認・作品確認・コンセプトの報告。	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
4		講義・演習	ディレクションのやり方、注意点、学ぶべき点の指導。シューミレーションにて速やかな団体行動の指導。	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
5		講義・演習	チームごとにディレクション・作品指導を行う。この作業を学園祭本番までやっていきます。	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
6		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
7		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
8		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
9		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
10		講義・演習	教務の先生方による作品チェックがあります。	チームでの練習(リハーサル)
11		講義・演習	フォーメーションシートや音源提出に関しての指導。	チームでの練習(リハーサル)
12		講義・演習	通しリハーサルなど	チームでの練習(リハーサル)
13		講義・演習	学園祭反省会。We Areのテーマ決め。	授業を通しての復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイション 4 (ダンス)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	日置望喜
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ダンスインストラクター・コレオグラファー・ダンサー・ダンスディレクター・ダンスコーディネーター						
授業の学習 内容	<p>①ダンス関係の職業に着くためには、モラル、団結力、振り付け能力、先見性、習慣性、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、DANCEのスキルアップ、ステージ経験、リーダーシップ、時間管理能力、積極性……と、多くの能力が必要となるため。</p> <p>②ダンスのオールジャンル……バレエ・JAZZ・コンテンポラリー・HIPHOP・JAZZHIPHOP・ガールズHIPHOP・KPOP・R&B・インストラクターなど……</p> <p>全てのジャンルが作品作りに役立つ為、全ての科目に関係します。</p> <p>③このCreationに参加し、ダンス関係の仕事が出来る人材になれるよう、多くの事を学んで欲しい。</p>						
到達目標	上記の必要条件を求められる中、自由でありながらキチンと縛りのある環境の中で、自分達の求める人と求める曲で求める作品を作っていく。時には縛りのある作品を求められることも…… 自己満足で終わらない、観客の求めるニーズのある作品とは何かを、少しずつ苦しみながら楽しみながらわかっていく、とてもクリエイティブな時間である。その題材を通してディレクションを受けながら、人との関わり方や、ステージでの見せかたを学んでいく。□						
評価方法と基準	<p>イベント本番作品チェックでの採点……45%</p> <p>出席率……50%</p> <p>その他(役割・振り付けなど積極性)……5%</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	WE AREのチームコンセプトのプレゼン	持ち物……Creationノートを作成し、持参し、メモを取る習慣を必ず身につける。
2		講義・演習	コンセプト決定のチームから曲選考。講師から曲のOKをもらったら振り付けを開始する。	前回の復習
3		講義・演習	作品作成・アイデアの出し合い・選曲や編集の確認・作品確認をしていく。	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
4		講義・演習	ディレクションのやり方、注意点、学ぶべき点の指導。シミュレーションにて速やかな団体行動の指導。	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
5		講義・演習	チームごとにディレクション・作品指導を行う。この作業をWE ARE本番までやっていきます。	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
6		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
7		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
8		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
9		講義・演習	チームディレクション	チームでの練習(振り・衣装・構成思案)
10		講義・演習	教務の作品チェック	チームでの練習(リハーサル)
11		講義・演習	フォーメーションシートや音源提出に関する指導。	チームでの練習(リハーサル)
12		講義・演習	通しリハーサルなど	チームでの練習(リハーサル)
13		講義・演習	全体通しリハーサルなど	授業を通しての復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	バックダンサー、振付、舞台、イベント出演など、DA TOKYO&TSMその他講師…約15年						
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を正しく理解し、HIP HOPなどにも共通するリズムやアームス、ボディコントロールなどを使いこなせるようにする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・HOUSEのベーシックな動き（体の止め方）を習得すること ・HOUSE特有のスピード感、タメ、止めを体現すること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎①（ベーシックムーブ）	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE基礎②（ベーシックムーブ応用）	各自授業内容を復習
3		講義・演習	リズム&アイソレーション	各自授業内容を復習
4		講義・演習	リズム&ベーシックムーブ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	コンビネーション	各自授業内容を復習
6		講義・演習	”遊び”を混ぜる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フロアを混ぜる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	アクロバットを混ぜる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		YoutubeなどでHOUSEを観る。知る。触れる。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	バックダンサー、振付、舞台、イベント出演など、DA TOKYO&TSMその他講師…約15年						
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を使い、個性的に踊りこなせるように指導をする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・振付は勿論、フリーでもHOUSEを踊れるようにすること ・様々曲調に対応したHOUSEができるようになること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎の復習	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE応用 (ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HOUSE応用 (リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HOUSE基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BREAKIN 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 岩崎 浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バックダンサー、振付、舞台、イベント出演など、DA TOKYO&TSMその他講師…約15年					
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ					
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではな身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得		各自授業内容を復習	
2		講義・演習	基本的なステップムーブの応用・実践		各自授業内容を復習	
3		講義・演習	チェアー・スピンの応用・実践		各自授業内容を復習	
4		講義・演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う		各自授業内容を復習	
5		講義・演習	フットワーク・6ステップの実践		各自授業内容を復習	
6		講義・演習	バックスピンの実践		各自授業内容を復習	
7		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践		各自授業内容を復習	
8		講義・演習	フリーズの種類を応用・実践		各自授業内容を復習	
9		講義・演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)		各自授業内容を復習	
10		講義・演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステップイン)の実践		各自授業内容を復習	
11		講義・演習	マカコ・バク転の実践		各自授業内容を復習	
12		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践		各自授業内容を復習	
13		講義・演習	振付けられた振りといんプロが実践できる		各自授業内容を復習	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出	
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。			
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	BREAKIN 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 岩崎 浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バックダンサー、振付、舞台、イベント出演など、DA TOKYO&TSMその他講師…約15年					
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ					
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅広いダンステクニックを習得する					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得		各自授業内容を復習	
2		講義・演習	基本的なステップムーブの応用・実践		各自授業内容を復習	
3		講義・演習	チェアー・スピンの応用・実践		各自授業内容を復習	
4		講義・演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う		各自授業内容を復習	
5		講義・演習	フットワーク・6ステップの実践		各自授業内容を復習	
6		講義・演習	バックスピンの実践		各自授業内容を復習	
7		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践		各自授業内容を復習	
8		講義・演習	フリーズの種類を応用・実践		各自授業内容を復習	
9		講義・演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)		各自授業内容を復習	
10		講義・演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステッピン)の実践		各自授業内容を復習	
11		講義・演習	マカコ・バク転の実践		各自授業内容を復習	
12		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践		各自授業内容を復習	
13		講義・演習	振付けられた振りといンプロが実践できる		各自授業内容を復習	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ		レポート提出	
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。			
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	シアターJAZZ 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	浅越葉菜
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 屋間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	クラシックバレエ、コンテンポラリーダンス、ジャズダンスを学ぶ。関東大手テーマパーク、劇団四季等様々な舞台で活躍。現在は舞台に出演するかたわら、バレエ、ジャズ等の指導者、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①バレエを基礎に、ジャズ、シアターのスタイル、テクニックを学ぶ。 ②音楽性の高い心、身体を養い、表現力を学ぶ。 ③プロフェッショナルとしての意識、居方を学ぶ。 2~3回で振付(コンビネーション)を行い、仕上げる。						
到達目標	シアター、ジャズのスタイルの習得。 音楽を表現する心と身体の習得。						
評価方法と基準	出席率:60% テスト:40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	シアターとは。前期の目標設定	各自前期の目標設定。
2		講義・演習	ウォーキング、立ち方/振付A①	自分のプロポーション、骨格を見直す
3		講義・演習	ウォーキング、立ち方/振付A②	自分に合ったストレッチ、トレーニングを習慣的に実践する
4		講義・演習	足さばき、身体のライン作り/振付B①	足のライン、立ち方、姿勢を見直す
5		講義・演習	足さばき、身体のライン作り/振付B②	上体の使い方、表情の研究
6		講義・演習	コアを意識した身体作り/振付C①	コア(丹田、体幹)トレーニングの強化
7		講義・演習	コアを意識した身体作り/振付C②	コアから繋がる身体作り強化
8		講義・演習	テクニック強化(ターン)/振付D①	テクニックの見直し、反復練習
9		講義・演習	テクニック強化(ジャンプ)/振付D②	テクニックの見直し、反復練習
10		講義・演習	音楽性の向上/振付E①	様々なジャンルの音楽を聴く
11		講義・演習	音楽性の向上/振付E②	音楽が身体で表現できているか研究
12		講義・演習	シーンに合った踊り、芝居心のある踊りの研究/振付F①	コントロールのきく身体作り
13		講義・演習	前期まとめ/振付F②	前期の振り返り、後期への目標設定
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			日常的に様々な芸術に触れ、感性を磨く。ストレッチ、トレーニングの習慣化。	
【使用教科書・教材・参考書】				
身体にフィットした服装、ヒール				

科目名	シアターJAZZ4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	浅越葉菜
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	クラシックバレエ、コンテンポラリーダンス、ジャズダンスを学ぶ。関東大手テーマパーク、劇団四季等様々な舞台で活躍。現在は舞台に出演するかたわら、バレエ、ジャズ等の指導者、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①バレエを基礎に、ジャズ、シアターのスタイル、テクニックを学ぶ。 ②音楽性の高い心、身体を養い、表現力を学ぶ。 ③プロフェッショナルとしての意識、居方を学ぶ。 2～3回で振付（コンビネーション）を行い、仕上げる。						
到達目標	シアター、ジャズのスタイルの習得。 音楽を表現する心と身体の習得。						
評価方法と基準	出席率:60% テスト:40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	後期の目標設定/振付G①	各自後期の目標設定
2		講義・演習	コントロールの効く身体作り/振付G②	身体の長所短所を見つめ、ストレッチ、トレーニングを見直す
3		講義・演習	コントロールの効く身体作り/振付H①	ストレッチ、トレーニングの習慣化
4		講義・演習	舞台上を意識した身体の使い方/振付H②	客観的に自分を捉える
5		講義・演習	伝える、届く、身体、表情の使い方/振付I①	表情の研究
6		講義・演習	アンサンブルとは/振付I②	身体の角度、音の取り方の研究
7		講義・演習	アンサンブルとは/振付J①	足さばき、上体の使い方の研究
8		講義・演習	テクニックを使い、音楽を表現する/振付J②	テクニックの見直し
9		講義・演習	テクニックを使い、感情を表現する/振付K①	振付の組み立て方、構成を考える
10		講義・演習	シンプルな身体のライン作り/振付K②	身体のライン（シルエット）の研究
11		講義・演習	アームス、上体のライン作り/振付L①	身体作りの見直し
12		講義・演習	後期まとめ/振付L②	身体の変化への気付きを持つ
13		講義・演習	一年間のまとめ/振付L③	一年間の成果、今後の目標設定
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			日常的に様々な芸術に触れ、感性を磨く。ストレッチ、トレーニングの習慣化。	
【使用教科書・教材・参考書】				
身体にフィットした服装、ヒール				

科目名	日本舞踊1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	五條 翠蝶
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	久世光彦氏・木村光一氏・佐藤信氏演出作品等、数々の舞台やミュージカルに出演。女優業は福沢亜希子の名で活動。現在は都内芸能養成所・高校等でダンスインストラクターも務める。						
授業の学習 内容	日本舞踊を通じて、伝統芸能、和服の所作を学ぶ。 役の年齢よっての着付け、所作の違いを学ぶ。 小曲「白扇」の振りを勉強し、日本舞踊の基本動作を学ぶ。						
到達目標	浴衣の着付けが、自身と他人、両方できるようになる。 古典舞踊、新舞踊を知ることが出来る。 和服でのスチール撮影、時代劇で生かせる所作を学ぶ事ができる。 男女問わず、男踊り・女踊りを経験することにより、男らしい・女らしい所作を身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	浴衣の着付け、たたみ方	浴衣をきれいに着れるようになる
2		講義・演習	浴衣の着付け、挨拶、摺り足	浴衣をスピーティーに着れるようになる
3		講義・演習	「白扇」1 舞扇の名称について	浴衣をスピーティーに着れるようになる 振りの練習
4		講義・演習	「白扇」2 扇子を使った所作	浴衣をスピーティーに着れるようになる 振りの練習
5		講義・演習	「白扇」3 浴衣着付けテスト	振りの練習
6		講義・演習	「白扇」4 前週の復習・男踊りの基本の足さばき	振りの練習
7		講義・演習	「白扇」5 前週の復習・基本に忠実に踊る	振りの練習
8		講義・演習	「白扇」6 前週の復習・反復練習	振りの練習
9		講義・演習	「白扇」7 前週の練習・細かな表現と基礎	振りの練習
10		講義・演習	「白扇」8 男踊り、女踊りについて	振りの練習
11		講義・演習	「白扇」テスト	動画をみて、自身の踊りを振り返る
12		講義・演習	新舞踊1 自分の表現とは	振りを練習してくる
13		講義・演習	新舞踊2 基礎を重視した個性について	所作の確認
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			自主練を行い、踊りを研鑽すること 日本舞踊などの日本の伝統芸能に触れていくこと	
【使用教科書・教材・参考書】				
(自分で用意)浴衣・帯・下着・足袋 (学校で用意)扇子				

科目名	日本舞踊2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	五條 翠蝶
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	久世光彦氏・木村光一氏・佐藤信氏演出作品等、数々の舞台やミュージカルに出演。女優業は福沢亜希子の名で活動。現在は都内芸能養成所・高校等でダンスインストラクターも務める。						
授業の学習 内容	日本舞踊を通じて、伝統芸能、和服の所作を学ぶ。 役の年齢よっての着付け、所作の違いを学ぶ。 小曲「白扇」の振りを勉強し、日本舞踊の基本動作を学ぶ。						
到達目標	浴衣の着付け、古典舞踊、新舞踊を知ることによって自身の知識として扱えるようになる。 和服でのスチール撮影、時代劇で生かせる所作を学び、自身のスキルとして扱えるようになる。 男女問わず、男踊り・女踊りを経験することにより、男らしい・女らしい所作を身につけられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「江戸まつり」1 前半部分振り入れ	浴衣をスピーディーに着れるようになる 振りの練習
2		講義・演習	「江戸まつり」2 後半部分振り入れ	浴衣をスピーディーに着れるようになる 振りの練習
3		講義・演習	「江戸まつり」3 全体を通して細かな確認	振りの練習
4		講義・演習	「江戸まつり」4 粋に踊る	振りの練習
5		講義・演習	「江戸まつり」5 間を感じて表現する	振りの練習
6		講義・演習	「江戸まつり」テスト	動画をみて、自身の踊りを振り返る
7		講義・演習	新舞踊「ソーラン鷗」1 女踊りの所作・振り入れ	振りを練習してくる
8		講義・演習	新舞踊「ソーラン鷗」2 表現を感じながら踊る	振りを練習してくる
9		講義・演習	新舞踊「ソーラン鷗」テスト	動画をみて、自身の踊りを振り返る
10		講義・演習	創作舞踊1 現代曲と日本舞踊	振りの練習
11		講義・演習	創作舞踊2 基本を重視した自分らしい表現について	振りの練習
12		講義・演習	創作舞踊3 1年を通じて踊った作品を披露する	
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	創作舞踊 発表	
準備学習 時間外学習			自主練を行い、踊りを研鑽すること 日本舞踊などの日本の伝統芸能に触れていくこと	
【使用教科書・教材・参考書】				
浴衣・帯・足袋・扇子				

科目名	アクロバット1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	田中英輔
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	アクション・スタントマンを経てテーマパークダンサー・アーティストのサポートダンサーなど						
授業の学習 内容	ストレッチ&筋トレを30分した後、比較的難易度が低い技（ハンドスプリング、バック転など）を反復練習する。						
到達目標	各々、習得したい技をステージで披露できるよう120%の成功率を目指す。						
評価方法と基準	授業態度、出席率、を元に実施試験で一人で技を披露。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 ブリッジ・ネック スプリング	各自授業内容を復習
2		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 ブリッジ・ネック スプリング	各自授業内容を復習
3		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 側転・ロンダート	各自授業内容を復習
4		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 側転・ロンダート	各自授業内容を復習
5		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 ハンドスプリング	各自授業内容を復習
6		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 ハンドスプリング	各自授業内容を復習
7		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 ハンドスプリング	各自授業内容を復習
8		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 ハンドスプリング	各自授業内容を復習
9		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 バック転	各自授業内容を復習
10		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 バック転	各自授業内容を復習
11		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 バック転	各自授業内容を復習
12		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 バック転	各自授業内容を復習
13		講義・発表	各々、習得したい技を練習、披露	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			壁倒立1分 +@ 筋トレ	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	田中英輔
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	アクション・スタントマンを経てテーマパークダンサー・アーティストのサポートダンサーなど						
授業の学習 内容	ストレッチ&筋トレを30分した後、比較的難易度が低い技（ハンドスプリング、バック転など）を反復練習する。						
到達目標	各々、習得したい技をステージで披露できるよう120%の成功率を目指す。						
評価方法と基準	授業態度、出席率、を元に実施試験で一人で技を披露。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 ブリッジ・ネックスプリング	各自授業内容を復習
2		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 ブリッジ・ネックスプリング	各自授業内容を復習
3		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 側転・ロンダート	各自授業内容を復習
4		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 側転・ロンダート	各自授業内容を復習
5		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 ハンドスプリング	各自授業内容を復習
6		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 ハンドスプリング	各自授業内容を復習
7		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 ハンドスプリング	各自授業内容を復習
8		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 ハンドスプリング	各自授業内容を復習
9		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 バック転	各自授業内容を復習
10		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 バック転	各自授業内容を復習
11		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 バック転	各自授業内容を復習
12		講義・発表	ストレッチ&筋トレ30分 バック転	各自授業内容を復習
13		講義・発表	各々、習得したい技を練習、披露	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			壁倒立1分 +@ 筋トレ	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ミュージカルゼミ3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	荒井 香 織
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	桐朋学園芸術短期大学 卒業 劇団四季 8年在籍						
授業の学習 内容	ミュージカルにおける歌唱方法、発声方法の学習。 1年生時より難易度が高いミュージカル課題への挑戦。						
到達目標	2年制では、より難易度が高いミュージカル課題に挑戦し、プロフェッショナルの現場で通用する歌唱力・演技力・表現力を身に着けることを目標とする。						
評価方法と基準	授業へ取り組む姿勢、出席率、試験においての結果を総合的に判断。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	課題① 説明、2年から参加学生への基礎説明	授業の復習を行うこと
2		講義	課題① 実習	授業の復習を行うこと
3		演習	課題① 実習	授業の復習を行うこと
4		演習	課題① 実習	授業の復習を行うこと
5		演習	課題② 説明	授業の復習を行うこと
6		講義	課題② 実習	授業の復習を行うこと
7		演習	課題② 実習	授業の復習を行うこと
8		演習	課題② 実習	授業の復習を行うこと
9		演習	課題② 実習	授業の復習を行うこと
10		演習	試験対策	授業の復習を行うこと
11		演習	試験対策	授業の復習を行うこと
12		演習	試験においてみえた課題を演習	授業の復習を行うこと
13		演習	課題③ 実習	授業の復習を行うこと
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ミュージカルゼミ4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	荒井 香 織
学科・専攻	ダンス&アクターズ科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	桐朋学園芸術短期大学 卒業 劇団四季 8年在籍						
授業の学習 内容	ミュージカルにおける歌唱方法、発声方法の学習。 1年生時より難易度が高いミュージカル課題への挑戦。						
到達目標	2年制では、より難易度が高いミュージカル課題に挑戦し、プロフェッショナルの現場で通用する歌唱力・演技力・表現力を身に着けることを目標とする。						
評価方法と基準	授業へ取り組む姿勢、出席率、試験においての結果を総合的に判断。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	課題① 説明、2年から参加学生への基礎説明	授業の復習を行うこと
2		講義	課題① 実習	授業の復習を行うこと
3		演習	課題① 実習	授業の復習を行うこと
4		演習	課題① 実習	授業の復習を行うこと
5		演習	課題② 説明	授業の復習を行うこと
6		講義	課題② 実習	授業の復習を行うこと
7		演習	課題② 実習	授業の復習を行うこと
8		演習	課題② 実習	授業の復習を行うこと
9		演習	課題② 実習	授業の復習を行うこと
10		演習	試験対策	授業の復習を行うこと
11		演習	試験対策	授業の復習を行うこと
12		演習	試験においてみえた課題を演習	授業の復習を行うこと
13		演習	課題③ 実習	授業の復習を行うこと
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
ミュージカル 『マンマ・ミーア!』 『美女と野獣』				